

令和4年2月4日

全管連 第55回事務局研修会
報告事項

	頁
1. 第62回通常総会・全国大会及び関連行事について	
*長野総会PRビデオ映像	
*通常総会・全国大会・記念旅行等に関する予備調査について	2
2. 水道管塗料の不適正な認証取得事案に伴う水道管工事への対応について	9
3. 建設マスター、建設ジュニアマスターへの推薦数増加の取組について	41
4. 特定技能一号評価試験実施について	54
5. 全管連 管工事賠償補償制度について	56
6. 全管連 主要会議等予定表（案）	71

全管連発4第10号
令和4年1月21日

会 員 各 位

全国管工事業協同組合連合会
(押印省略)

第62回通常総会・全国大会・記念旅行等に関する予備調査について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本会第349回理事会（1月17日開催）において、第62回通常総会等関連行事を別掲日程により「軽井沢プリンスホテル ウエスト」（長野県軽井沢町）において開催することとなりました。各位におかれましてはご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、多数のご出席を賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の発生状況が懸念され今後不透明な状況ですが、予定通り通常総会・全国大会等が開催された場合を想定した予備調査となりますので、何卒よろしくようお願い申し上げます。

つきましては、総会等関連行事の円滑な準備運営を図るため、出席者の予備調査を実施いたします。貴組合からの出席者数を調査票により、2月18日（金）までにメールまたはFAXにてご回答下さるようお願い申し上げます。

なお、出席者は人数のみで結構ですが、なるべく確実な人数をご記入ください。この調査結果に従って、開催地組合では宿泊の確保等諸準備に入りますので、本申込時と大幅な変更がないようお願い申し上げます。

敬具

◎本件に関するお問い合わせ先
事務局 佐藤・阿蘇・仲村
TEL 03(5981)8957
FAX 03(5981)8958
メール higuchi@zenkanren.or.jp (小島)

全管連第 62 回（令和 4 年度）

通常総会・全国大会・懇親会及び記念旅行イベント、宿泊について

1 第 6 2 回通常総会・全国大会及び懇親会について

(1) 期 日 : 令和 4 年 7 月 4 日 (月)

(2) 場 所 : 軽井沢プリンスホテル ウェスト

長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢 1016-87 TEL : 0267-42-1111

月日	行 事	時 間	場 所	会 費
令和 4 年 7 月 4 日 (月)	受 付 (クローク)	午後 0 時 0 0 分～	宴会場「千曲」 *お荷物をお預かり いたします	・お一人様につき 30,000 円 (税込み)
	通常総会	午後 2 時 0 0 分 ～午後 3 時 1 5 分		
	全国大会	午後 3 時 3 0 分 ～午後 4 時 3 0 分	メインバンケット ホール「長野」	・夫人同伴の場合は、 2 人で 45,000 円 (税込み) ・総会・全国大会・ 懇親会はセットに なっております (宿泊費は別途料金)。
	懇 親 会	午後 5 時 3 0 分 ～午後 7 時 3 0 分		

※ 通常総会・全国大会会場（軽井沢プリンスホテル）へのアクセス

○各自会場へご集合をお願い致します。

電車：北陸新幹線軽井沢駅より、タクシーで約 2 分、徒歩約 13 分。

軽井沢駅より約 30 分間隔でホテルの無料シャトルバスを運行。（8 時～ 2 1 時）

1 1 時～ 1 2 時は、中型バスを運行します。

※シャトルバス、中型バスともに定員以上はご乗車できませんので、その際はタクシーをご利用ください。

車：上信越自動車道 碓氷軽井沢 I.C. から約 1 2（平常時）分（1 1 km）

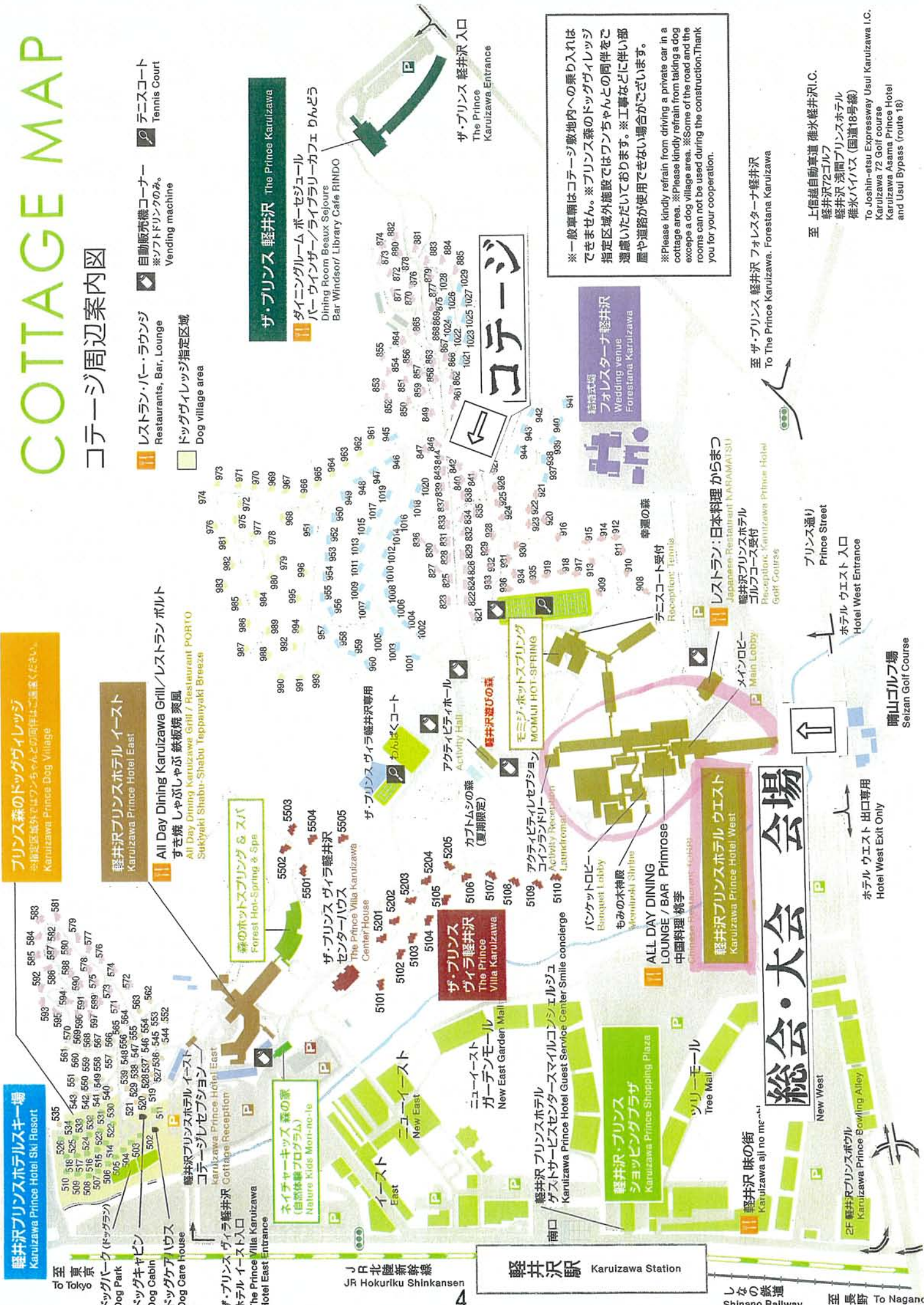
COTTAGE MAP

コテージ周辺案内図

プリンス森のドッグヴィレッジ
※指定区域ではワンちゃんとの同伴はご遠慮ください。
Karuzawa Prince Dog Village

軽井沢プリンスホテルスキー場
Karuzawa Prince Hotel Ski Resort

585 584 583
582 586 587 582 581
580 585 594 588 590 579
578 577
576 575
574 573 574
572 571
570 569 568 567 566 565 571
564 563 562 561 560 559 558 557 556 555 554 553 552 551 550 549 548 547 546 545 544 543 542 541 540 539 538 537 536 535 534 533 532 531 530 529 528 527 526 525 524 523 522 521 520 519 518 517 516 515 514 513 512 511 510 509 508 507 506 505 504 503 502 501 500 499 498 497 496 495 494 493 492 491 490 489 488 487 486 485 484 483 482 481 480 479 478 477 476 475 474 473 472 471 470 469 468 467 466 465 464 463 462 461 460 459 458 457 456 455 454 453 452 451 450 449 448 447 446 445 444 443 442 441 440 439 438 437 436 435 434 433 432 431 430 429 428 427 426 425 424 423 422 421 420 419 418 417 416 415 414 413 412 411 410 409 408 407 406 405 404 403 402 401 400 399 398 397 396 395 394 393 392 391 390 389 388 387 386 385 384 383 382 381 380 379 378 377 376 375 374 373 372 371 370 369 368 367 366 365 364 363 362 361 360 359 358 357 356 355 354 353 352 351 350 349 348 347 346 345 344 343 342 341 340 339 338 337 336 335 334 333 332 331 330 329 328 327 326 325 324 323 322 321 320 319 318 317 316 315 314 313 312 311 310 309 308 307 306 305 304 303 302 301 300 299 298 297 296 295 294 293 292 291 290 289 288 287 286 285 284 283 282 281 280 279 278 277 276 275 274 273 272 271 270 269 268 267 266 265 264 263 262 261 260 259 258 257 256 255 254 253 252 251 250 249 248 247 246 245 244 243 242 241 240 239 238 237 236 235 234 233 232 231 230 229 228 227 226 225 224 223 222 221 220 219 218 217 216 215 214 213 212 211 210 209 208 207 206 205 204 203 202 201 200 199 198 197 196 195 194 193 192 191 190 189 188 187 186 185 184 183 182 181 180 179 178 177 176 175 174 173 172 171 170 169 168 167 166 165 164 163 162 161 160 159 158 157 156 155 154 153 152 151 150 149 148 147 146 145 144 143 142 141 140 139 138 137 136 135 134 133 132 131 130 129 128 127 126 125 124 123 122 121 120 119 118 117 116 115 114 113 112 111 110 109 108 107 106 105 104 103 102 101 100 99 98 97 96 95 94 93 92 91 90 89 88 87 86 85 84 83 82 81 80 79 78 77 76 75 74 73 72 71 70 69 68 67 66 65 64 63 62 61 60 59 58 57 56 55 54 53 52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34 33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1



- レストラン・バー・ラウンジ**
Restaurants, Bar, Lounge
- ドッグヴィレッジ指定区域**
Dog village area
- 自動販売機コーナー**
※ソフトドリンクのみ
Vending machine
- テニスコート**
Tennis Court

ザ・プリンス 軽井沢 The Prince Karuzawa

ダイニングルーム ポーセジュール
バー・ワインバー/ライブラリー・カフェ りんどろ
Bar Windsor/ Library Cafe RINDO

コテージ

※一般車輦はコテージ敷地内への乗り入れはできません。※プリンス森のドッグヴィレッジ指定区域外施設ではワンちゃんとの同伴をご遠慮いただいております。※工事などに伴い部屋や道路が使用できない場合がございます。

※Please kindly refrain from driving a private car in a cottage area. ※Please kindly refrain from taking a dog except a dog village area. ※Some of the road and the rooms can not be used during the construction. Thank you for your cooperation.

至 ザ・プリンス 軽井沢 フォレストーナ軽井沢
To The Prince Karuzawa, Forestana Karuzawa

至 上信越自動車道 碓氷軽井沢IC.
軽井沢72ゴルフ
軽井沢 浅間プリンスホテル
碓氷ハイパス (国道18号線)

To Joshin-etsu Expressway Usui Karuzawa I.C.
Karuzawa 72 Golf course
Karuzawa Asama Prince Hotel
and Usui Bypass (route 18)

総会・大会 会場

ホテル ウェスト 出口専用
Hotel West Exit Only

晴山ゴルフ場
Seizan Golf Course

プリンスト通り
Prince Street
ホテル ウェスト 入口
Hotel West Entrance

レストラン: 日本料理からま
Japanese Restaurant KARUWASU
軽井沢プリンスホテル
ゴルフコース受付
Reception, Karuzawa Prince Hotel
Golf Courses

結婚式場
フォレストーナ軽井沢
Wedding venue
Forestana Karuzawa

モミジ・ホットスプリング
MOMIJI HOT-SPRING
Activity Reception
Laundromat

アクティビティホール
Activity Hall

ザ・プリンス ヴィラ軽井沢
The Prince Villa Karuzawa
Center House

ザ・プリンス センターハウス
The Prince Center House

森のホットスプリング & スパ
Forest Hot-Spring & Spa

軽井沢プリンスホテル イースト
Karuzawa Prince Hotel East
Cottage Reception

コテージレセプション
Cottage Reception

ドッグキャビン
Dog Cabin

至 東京
To Tokyo

至 長野
To Nagano

軽井沢駅 Karuzawa Station

JR 北陸新幹線
JR Hokuriku Shinkansen

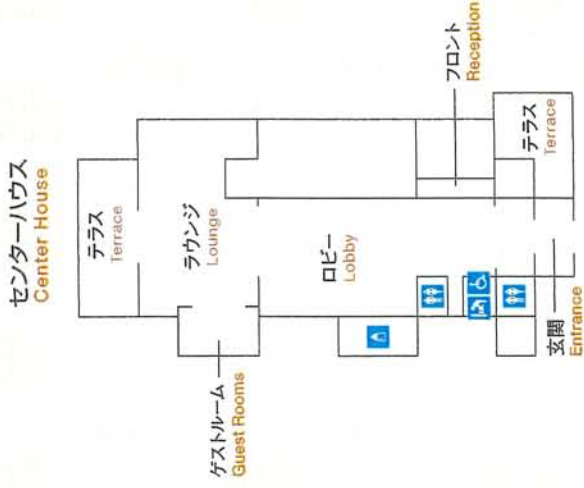
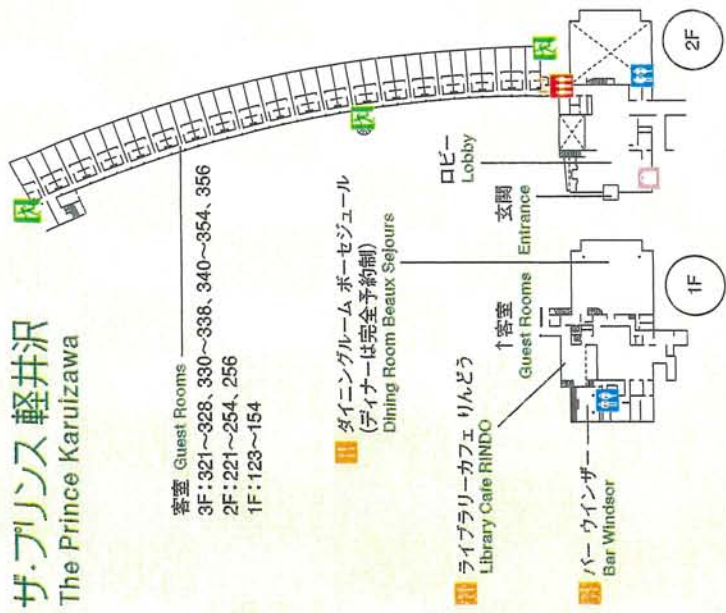
しなの鉄道
Shinano Railway

ザ・プリンス 軽井沢

The Prince Karuizawa

ザ・プリンス ウィラ 軽井沢

The Prince Villa Karuizawa



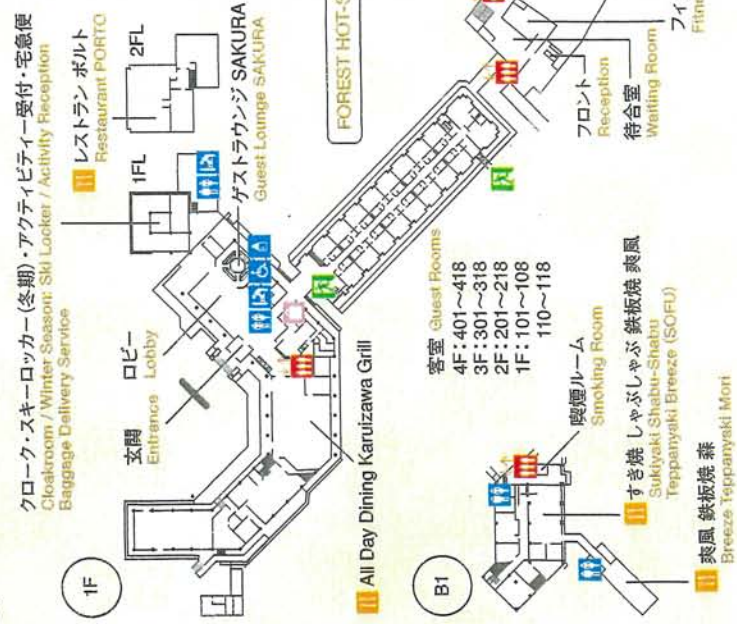
軽井沢プリンスホテル ウェスト

Karuizawa Prince Hotel West



軽井沢プリンスホテル イースト

Karuizawa Prince Hotel East



送迎カート | ベルカウンターにて受け付けておりますが、時間帯により混み合う場合がございます。循環バスも併せてご利用ください。
Pick-up cart | If you need a transportation, please contact a bell captain desk. When it is crowded, it will take a time. Please use the "Pickup bus", as well.

- 🏪 売店 Shop
- 🍽️ レストラン・バー・ラウンジ Restaurants, Bar, Lounge
- 🚽 化粧室 Restroom
- 👶 おむつ替え台 Diaper Changing table
- 🚰 多目的トイレ Accessible Restroom
- 🛏️ 授乳室 Nursing Room
- 📶 エレベーター Elevator
- 👉 エスカレーター Escalator
- 🚪 非常口 Emergency Exit

2 宿泊について

総会前日(7/3(日))、及び当日(7/4(月))の宿泊を希望される方は、開催地(旅行会社)を通じて宿泊のご予約を承りますので、併せてお申込下さい(下記の宿泊料金は、一人朝食・税・サービス料込み)
 ※コテージにつきましては、全て各部屋(ツインルーム)毎にバス・トイレ・エアコンが付いており、ドアは各部屋毎に施錠できます。コテージ入口のカードキーも部屋数分を貸与するので、コテージでツインのシングルユースとしてのご利用が可能です(1室1名)。

ホテル名	宿泊料金(お一人様)	備考
軽井沢プリンスホテル ウエスト(入湯税含む)	ツイン(1名利用) 14,750円 ツイン(2名利用) 8,950円	・チェックイン 午後3時 ・チェックアウト 午前11時 駐車場 400台 ・宿泊の方は、1泊1台につき1,000円 (出発日の10:00P.M まで利用できます。) ・宴会で利用の方は、 6時間まで無料
軽井沢プリンスホテル ウエスト(入湯税含む) デラックスツイン	ツイン(1名利用) 24,050円 ツイン(2名利用) 13,650円	
軽井沢プリンスホテル コテージ8人用4部屋 Fタイプ	(7~8名利用) 6,400円 (4名利用・1室1名) 9,400円	
軽井沢プリンスホテル コテージ6人用2部屋 Eタイプ	(5~6名利用) 6,400円 (2名利用・1室1名) 12,800円	
軽井沢プリンスホテル コテージ4人用2部屋 Dタイプ	(3~4名利用) 6,400円 (2名利用・1室1名) 9,700円	
軽井沢プリンスホテル イースト(入湯税含む)	ツイン(1名利用) 20,550円 ツイン(2名利用) 11,850円	

※コテージとイーストには、電気カーによる送迎に加え、ホテル敷地内の指定ルートを循環する、送迎用ノンステップバス「ピックアップバス」を運行しています。

各ホテル間の移動はもちろん、ホテル敷地内の指定ルート内はどこでも乗り降り自由ですので気軽に、便利にご利用いただけます。

3 記念イベントについて

(1) 記念旅行

期 日：令和4年7月5日(火)～6日(水)

宿泊場所：上山田温泉 清風園

旅行代金：下記料金には宿泊代(一泊2食 宴会飲み放題)2日間バス代・5日の昼食代・保険代を含みます。

[お一人様につき]いずれも税・サービス料込み。

3名～4名1室：37,000円 2名1室：40,000円

※1名1室利用は施設利用の関係上、設定がございませんので、予めご了承ください。

日次	月日(曜)	行 程	食 事
1	7/5 (火)	大型貸切バス バスガイド付き 軽井沢プリンスホテル== 別所温泉 北向き観音 ==戸隠神社(中社、奥社) 8:00 出発 9:20 着 10:00 発 12:00 着 参拝 昼食 ==善光寺 == 15:00 着 16:00 出発 上山田温泉清風園 16:50 着	朝：× (丼) 昼：○ 夕：○

2	7/6 (水)	清風園 出発 10:00	=== 長野駅 (解散) 10:40 着	朝:○
---	------------	-----------------	----------------------------	-----

● お願い/このご旅程は各地の道路状況により多少時間が変更になる場合がございます。

ア 主な見どころ

(ア) 北向き観音

厄除観音として知られる「北向観音堂」は、平安時代初期の天長2年(825年)比叡山延暦寺座主慈覚大師円仁により開創された霊場です。

安和2年(969年)、平維茂は一山を修理し、三楽寺、四院、六十坊を増築したと伝えられます。

寿永元年(1182年)には源平争乱の中、木曾義仲(=源義仲、1154~1184年)の手により八角三重塔と石造多宝塔を残して全て焼失してしまいますが源頼朝(1147~1199年)の命のもと伽藍復興がおこなわれ、建長4年(1252年)、塩田陸奥守北条国時により再興されました。

本堂が北を向いているのは、わが国でもほとんど例がないようです。その由来は、観世音菩薩出現の際、「北斗七星が世界の依怙(よりどころ)となるように我も又一切衆生のために常に依怙となって済度をなさん」というお告げによるものといわれています。(別所温泉観光協会ホームページから)

(イ) 戸隠神社

戸隠神社は霊山・戸隠山の麓に、奥社・中社・宝光社・九頭龍社・火之御子社の五社からなる、創建以来二千年余りに及ぶ歴史を刻む神社です。その起こりは遠い神世の昔、「天の岩戸」が飛来し、現在の姿になったといわれる戸隠山を中心に発達し、祭神は、「天の岩戸開きの神事」に功績のあった神々をお祀りしています。平安時代末は修験道の道場として都にまで知られた霊場でした。

神仏習合のころは戸隠山顕光寺と称し、当時は「戸隠十三谷三千坊」と呼ばれ、比叡山、高野山と共に「三千坊三山」と言われるほどに栄えました。

江戸時代には徳川家康の手厚い保護を受け、一千石の朱印状を賜り、東叡山寛永寺の末寺となり、農業、水の神としての性格が強まってきました。山中は門前町として整備され、奥社参道に現在もその威厳を伝える杉並木も植えられ、広く信仰を集めました。

明治になって戸隠は神仏分離の対象となり、寺は切り離され、僧侶は還俗して神官となり、戸隠神社と名前を変えて現在に至ります。(戸隠観光協会ホームページから)

(ウ) 戸隠そば

戸隠でのそばの歴史は、平安時代、山岳修験者の携帯食としてそば粉が珍重されたことに始まります。

江戸時代になると、寛永寺から当時の戸隠山・顕光寺に「そばきり」の技が伝えられたという記録があります。その後、遠来の賓客や戸隠講の人々に振る舞うおもてなし料理として広がりしました。

(戸隠観光協会ホームページから)

(エ) 善光寺

信州善光寺は、一光三尊阿弥陀如来様を御本尊として、創建以来約千四百年の長きに亘り、阿弥陀如来様との結縁の場として、民衆の心の拠り所として深く広い信仰を得ております。

『善光寺縁起』によれば、御本尊の一光三尊阿弥陀如来様は、インドから朝鮮半島百済国へとお渡りになり、欽明天皇十三年(552年)、仏教伝来の折りに百済から日本へ伝えられた日本最古の仏像といわれております。この仏像は、仏教の受容を巡っての崇仏・廃仏論争の最中、廃仏派の物部氏によって難波の堀江へと打ち捨てられました。後に、信濃国司の従者として都に上った本田善光が信濃の国へとお連れし、はじめは今の長野県飯田市でお祀りされ、後に皇極天皇元年(642年)現在の地に遷座いたしました。皇極天皇三年(644年)には勅願により伽藍が造営され、本田善光の名を取って「善光寺」と名付けられました。

創建以来十数回の火災に遭いましたが、その度ごとに、民衆の如来様をお慕いする心によって復興され護持されてまいりました(善光寺ホームページから)

(2) ゴルフ大会

ア 開催日時： 令和4年7月5日(火)

イ 会場： 軽井沢72ゴルフ東コース 入山

(長野県北佐久郡軽井沢町発地南軽井沢 TEL：0267-48-0072)

多彩な技術で戦略的に楽しむアスリート向けコース。

入山コースは多彩なテクニックとアクティブなショットが要求される難易度の高いコースです。気の合う仲間やファミリーで、爽快なGPSナビ付乗用ゴルフカーでのプレーが楽しめます。

ウ 予定人員： 120名(キャディ付乗用カート)

エ 参加費： お一人様 28,000円(プレー代・昼食代・会費含む)

(売店・茶店等のご利用につきましてはお帰りの際、各自ご精算をお願い致します。)

オ 行動予定： 08:00 ホテル出発(軽井沢プリンスホテル ウエスト *朝食6:30~)

08:15 マイカー組の方、ゴルフ場集合

08:30 受付

09:00 スタート(各コース同時スタート)

カ 昼食： ハーフ終了後クラブハウスにて(2,000円の食事券、追加分は各自精算)

キ 表彰： 優勝、準優勝、3位、4位、5位、10位以下10を加えて70位までとBB賞

OUT・IN それぞれ1ホールずつニアピン賞(OUT4番 IN2番)

OUT・IN それぞれ1ホールずつドラコン賞(OUT2番 IN4番)

※表彰式は時間の都合上行いません。

※表彰(賞品)等は、後日成績表とともに発送させていただきます。

ク 競技： 18ホールズ ストロークプレー ダブルペリア方式

ケ その他： バスの運行予定

往路： 軽井沢プリンスホテル ウエスト(08:00発) ~ ゴルフ場(08:20着)

復路： ゴルフ場(16:30発) ~ 軽井沢駅(17:30着)

(3) ゴルフ大会終了後、記念旅行に合流する場合

ア ゴルフ場から新幹線軽井沢駅経由上山田温泉清風園までバスを運行します。

ゴルフ場(16:30発)~上山田温泉清風園(17:30着)⇒記念旅行組に合流

イ 記念旅行参加費(追加負担)

[お一人様につき]宿泊代(1泊2食 宴会飲み放題)2日間バス代 5日昼食代 保険代含む

3名~4名1室 : 29,000円 2名1室:32,000円

(4) 軽井沢自由散策の後、バスにより記念旅行に合流する場合

ア 新幹線軽井沢駅(集合16:00)でゴルフ場からのバスに乗車(17:30上山田温泉清風園到着)

イ [お一人様につき]宿泊代(1泊2食 宴会飲み放題)2日間(軽井沢駅から清風園、清風園から長野駅)

バス代 5日昼食代 保険代含む

3名~4名1室 : 29,000円 2名1室:32,000円

(5) 自家用車で一日自由行動の後記念旅行に合流する場合

ア 各自17:30までに上山田温泉清風園にご到着ください。

イ [お一人様につき]宿泊代(1泊2食 宴会飲み放題)

3名~4名1室 : 20,000円 2名1室:23,000円

※ 上山田温泉清風園につきましては、1人利用及び5人以上の設定はありません。

バスについてはコロナ感染予防により大型バスは30人乗車として経費を算出

(報告事項2)

事務連絡
令和4年1月24日

各都道府県水道行政主管部（局） 殿
各厚生労働大臣認可 水道事業者
水道用水供給事業者 殿

厚生労働省医薬・生活衛生局水道課

水道管塗料の不適正な認証取得事案に伴う水道管工事への対応について

水道行政の推進につきましては、日頃から格別の御協力をいただき御礼申し上げます。

令和4年1月11日に発覚した、神東塗料株式会社が日本水道協会規格 JWWA K 139 の認証を不適正に取得していた事案を受けて、多くの水道管材料の出荷が自粛されたことに伴い、全国的に水道管工事の一時中止や遅延が発生したところです。

本件につきましては、水道管工事の受注者が意図したものではないことから、水道事業者及び水道用水供給事業者（以下「水道事業者等」という。）におかれましては、本事案に伴う水道管工事の一時中止や工程の遅延等について、柔軟に対応いただくよう、ご配慮の程よろしくお願いいたします。

また、各都道府県水道行政主管部（局）におかれましては、本件を受けて、国庫補助事業の年度内完了に影響が見込まれる場合は、早急に各地方財務局に相談いただき、必要に応じて繰越手続きをお願いいたします。また、地方繰越に際しては戻入手続等、予算手続き面もご確認いただきつつ、遺漏無きようよろしくお願いいたします。

各都道府県水道行政主管部（局）におかれましては、貴管下都道府県知事認可の水道事業者等に対して、本事務連絡を周知いただきますようよろしくお願いいたします。

本件問い合わせ先
厚生労働省医薬・生活衛生局水道課
電話：03-3595-2368（直通）
E-mail：suidougi.jutsu@mhlw.go.jp

令和4年1月11日

神東塗料(株)の不適切行為による日本水道協会品質認証の取得事案について (第一報)

公益社団法人 品質認証センター

神東塗料(株)から下記について当協会に報告がありました。

現在、当該会社に対し、更なる情報提供を求めるとともに、同社並びに当該認証品の取り扱いについて、品質認証関連規定などにに基づき検討中です。

報告内容の概要は下記のとおりであり、不適切行為の対象である JWVA 規格認証塗料について、出荷及び認証マーク等の使用停止を検討中です。

今後、新たな関連情報については、順次、当協会ホームページ「日本水道協会 HOME」並びに「品質認証センター」で発信いたします。

記

【神東塗料(株)からの報告概要】

1. 不適切行為の内容

- ① JWVA 規格認証取得時に、同規格で規定されている試験条件と異なる条件で得られた試験結果により認証を取得した。
- ② JWVA 規格認証品の中に指定外原料が使用されているものがある。
ことが社内の初期調査で確認され、事実関係の詳細等については、同社で現在調査中

2. 不適切行為の対象である JWVA 規格認証品塗料

JWVA K139 (水道用ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗料)
型式については現在調査中

3. 神東塗料(株)としてのこれまでの対応等

- ・ 2022年1月初めに、当該不適切行為の対象製品の出荷先及びユーザーである水道管メーカーに対し状況説明を行い、以下の点を通知しました。
 - ① 同社は対象製品の出荷を一時的に停止したこと
 - ② 出荷先で在庫として保管している対象製品について使用しないでいただきたいこと
 - ③ 対象製品を使用して製造されたお客様の製品についても出荷を停止していただきたいこと
- ・ 出荷停止した製品の安全性に関する評価等は、調査中です。

以上

担当：公益社団法人 日本水道協会
品質認証センター品質管理課
大阪支所品質管理課

山形 TEL 03-3264-2736
豊島 TEL 06-4399-5100

神東塗料(株)の不適切行為による日本水道協会品質認証の取得事案について (第2報)

公益社団法人日本水道協会
品質認証センター

神東塗料(株)から一部製品に係る不適切行為について公表がありました。

公表内容に基づき、下記の製品について、認証マーク等の使用停止及び認証マーク等を表示している当該認証製品を出荷しない事を請求しました。

引き続き、新たな関連情報については、順次、本協会ホームページ「日本水道協会 HOME」ならびに「品質認証センター」で発信いたします。

記

1. 不適切行為に係る対象製品

- ① JWVA K139とは異なる条件で得られた試験結果により日本水道協会の認証を取得した疑いがあるもの

- ・クボタコート EM#1001NT
- ・タイセイコート#139 黒・グレー ※
- ・クボタコート EM#1001NT-LO ※
- ・ニッチューコート WL#7000 グレー ※
- ・シントーコート EM#800 グレー ※

- ② JWVA K139に記載されていない原料が使用されている疑いがあるもの

- ・クボタコート Dip#300 (速乾を除く)
 - ・コスモコート#3000
 - ・シントーコート 139
 - ・クボタコート#4100
 - ・ダクティル管外面補修用塗料
 - ・タイセイコート#139 黒・グレー ※
 - ・クボタコート EM#1001NT-LO ※
 - ・ニッチューコート WL#7000 グレー ※
 - ・ニッチューコート E#7000 グレー
 - ・シントーコート EM#800 グレー ※
 - ・シントーコート 139(H) グレー
- ※①と②で重複する製品あり

2. 今後の対応

神東塗料(株)に対して工場の立入調査を実施し、JWWA 規格に規定する試験の記録や原材料の使用状況等について確認します。

また、製品の安全性の確認についても、早急に実施してまいります。

(参照) 日本水道協会ホームページ トップページ トピックス

神東塗料(株)の不適切行為による日本水道協会品質認証の取得事案について(2022.1.11)

以上

担当：公益社団法人日本水道協会

品質認証センター品質管理課

大阪支所品質管理課

山形 TEL 03-3264-2736

豊島 TEL 06-4399-5100

神東塗料(株)の不適切行為による日本水道協会品質認証の取得事案について
(第三報)

公益社団法人日本水道協会
品質認証センター

現在、本協会は、本事案を受けて神東塗料(株)に対し、認証品の一部型式の出荷停止等を行っています。
この度、神東塗料(株)の工場調査を実施した結果、認証品の型式の一部について、基準への適合が確認できたため、下記のとおり出荷停止等の処置を解除しました。

記

- 1 今回、出荷停止等を解除した型式
クボタコート Dip#300 速乾型黒、及びクボタコート Dip#300 速乾型グレー(下記2 No.1の一部)

- 2 認証登録番号(資管 C-3) 出荷停止等が継続されているもの(下線部が今回変更となった部分)

No.	認証登録品名	型 式
1	水道用ダクティル鑄鉄管用合成樹脂塗料(管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	クボタコート Dip#300 (<u>速乾型黒及び速乾型グレーを除く</u>)
2	水道用ダクティル鑄鉄管用合成樹脂塗料(管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	コスモコート#3000
3	水道用ダクティル鑄鉄管用合成樹脂塗料(管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート 139
4	水道用ダクティル鑄鉄管用合成樹脂塗料(管用) 二液性エポキシ樹脂塗料	クボタコート EM#1001NT
5	水道用ダクティル鑄鉄管用合成樹脂塗料(管用) アクリル樹脂塗料	クボタコート#4100
6	水道用ダクティル鑄鉄管用合成樹脂塗料(管用) アクリル樹脂塗料	ダクティル管外面補修用塗料
7	水道用ダクティル鑄鉄管用合成樹脂塗料(管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	タイセイコート#139
8	水道用ダクティル鑄鉄管用合成樹脂塗料(管用) 二液性エポキシ樹脂塗料	クボタコート EM#1001NT-LO
9	水道用ダクティル鑄鉄管用合成樹脂塗料(管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	ニッチューコート WL#7000 グレー
10	水道用ダクティル鑄鉄管用合成樹脂塗料(管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	ニッチューコート E#7000 グレー
11	水道用ダクティル鑄鉄管用合成樹脂塗料(管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート EM#800 グレー
12	水道用ダクティル鑄鉄管用合成樹脂塗料(管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート 139(H) グレー

※引き続き、新たな関連情報については、順次、本協会ホームページ「日本水道協会 HOME」並びに「品質認証センター」で発信します。

以上

担当：品質認証センター品質管理課
大阪支所品質管理課

山形 TEL 03-3264-2736
豊島 TEL 06-4399-5100

神東塗料株式会社の JWAK 139 に関わる塗料を用いた日本水道協会検査品の取扱いについて（第二報）

神東塗料(株)の不適切行為による日本水道協会品質認証の取得事案について（第三報） 2022.1.16 の公表のとおり、認証品の出荷停止等の一部が解除されたことに伴い、下記型式について、日本水道協会検査合格品につきましても出荷自粛を取り下げます。

○ 今回、出荷停止等を解除した型式

- ・ クボタコート Dip #300 速乾型黒、及びクボタコート Dip #300 速乾型グレーの2品目

認証登録番号 資管 C-3 出荷自粛を取り下げたもの（下線部が情報更新）

認証登録品名	型式
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	<u>クボタコート Dip#300（速乾型黒、速乾型グレー）</u>
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	TS コート 139
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート DP
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）二液性エポキシ樹脂塗料	クボタコート#100INT
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	シントーコート AC
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	ニッチューコート WL#2500
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	シントーコート EM#100
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	ニッチューコート E#7000 ブラック
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート 139 (H)
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	ニッチューコート #5700 グレー
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	ニッチューコート #5700AS グレー
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	ニッチューコート #5700 グレー HB
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	ニッチューコート #5700 グレー（艶あり）

※引き続き、新たな情報については、

順次、本協会ホームページ「日本水道協会 HOME」並びに「JWWA 検査事業」にて発信します。

(参考)

認証登録番号 資管 C-3 出荷自粛要請を継続中のもの (下線部が情報更新)

認証登録品名	型式
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	クボタコート Dip#300 (速乾型を除く)
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	コスモコート#3000
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート 139
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 二液性エポキシ樹脂塗料	クボタコート EM#1001NT
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) アクリル樹脂塗料	クボタコート#4100
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) アクリル樹脂塗料	ダクタイル管外面補修用塗料
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	タイセイコート#139
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 二液性エポキシ樹脂塗料	クボタコート EM#1001NT-LO
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	ニッチューコート WL#7000 グレー
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	ニッチューコート E#7000 グレー
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート EM#800 グレー
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート 139 (H) グレー

(参照)

- ・神東塗料株式会社の JWVA K139 に関わる塗料を用いた日本水道協会検査品の取扱いについて (2022.1.14)

連絡担当：検査部検査課 坂本 TEL 03-3264-2709

神東塗料株式会社のJWWAK 139に関わる塗料を用いた日本水道協会検査品の取扱いについて（第三報）

日本水道協会は、令和4年1月17日に「水道施設の技術的基準を定める省令」で定める浸出試験結果により、下記の塗料について衛生性に問題がないことを確認しました。

当該塗料を使用した水道用資機材についてはこれまで通り安全にご使用いただけます。

また、当該塗料を使用した日本水道協会検査合格品の出荷自粛要請を取り下げるとともに、下記のとおり対応します。

記

1. 「水道施設の技術的基準を定める省令」で定める衛生性が確認された型式

- ・クボタコート Dip#300
- ・クボタコート EM#1001NT

2. 既に検査済みの資機材

1. の塗料を使用して本協会検査に既に合格している水道用資機材については、そのまま検査合格品として扱います。

3. これから本協会検査を受検する資機材

1. の塗料をJWWAK 139 塗料とみなし、この塗料を使用する水道用資機材は、JWWA 規格（製品規格^{注1}）に規定する検査項目を満足することが確認できた場合、JWWA 規格品とします。

4. この取扱いは、令和4年1月17日から令和4年7月31日までとします。

注1 JWWAG 113 水道用ダクタイル鋳鉄管、JWWAG 114 水道用ダクタイル鋳鉄異形管 等の製品規格

認証登録番号 資管 C-3 出荷自粛要請を取り下げたもの（下線部が情報更新）

認証登録品名	型式
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用） <u>一液性エポキシ樹脂塗料</u>	クボタコート Dip#300
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用） <u>二液性エポキシ樹脂塗料</u>	クボタコート EM#1001NT
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	TS コート 139
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート DP
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）二液性エポキシ樹脂塗料	クボタコート#1001NT
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	シントーコート AC
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	ニッチューコート WL#2500
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	シントーコート EM#100
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	ニッチューコート E#7000 ブラック
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート 139 (H)
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	ニッチューコート #5700 グレー
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	ニッチューコート #5700AS グレー
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	ニッチューコート #5700 グレー HB
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	ニッチューコート #5700 グレー（艶あり）

(参考)

認証登録番号 資管 C-3 出荷自粛要請を継続中のもの

認証登録品名	型式
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	コスモコート#3000
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート 139
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) アクリル樹脂塗料	クボタコート#4100
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) アクリル樹脂塗料	ダクタイル管外面補修用塗料
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	タイセイコート#139
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 二液性エポキシ樹脂塗料	クボタコート EM#1001NT-LO
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	ニッチューコート WL#7000 グレー
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	ニッチューコート E#7000 グレー
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート EM#800 グレー
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート 139 (H) グレー

以上

連絡担当：検査部検査課 坂本 TEL 03-3264-2709

神東塗料株式会社のJWWAK 139に関わる塗料を用いた日本水道協会検査品の取扱いについて（第四報）

検査品の自粛要請を継続中の水道用資機材に使用される表1の塗料について、暫定的に以下のように扱います。

1. 衛生性の確認を要する水道用資機材について

今後、「水道施設の技術的基準を定める省令」で定める浸出試験結果により衛生性が確認されたものは、水道用資機材として使用することに問題ないと考え、以下の1)、2)のとおり扱います。

1) 既に検査済みの資機材

本協会検査に既に合格している資機材については、そのまま検査合格品として扱い、出荷自粛の要請を速やかに取り下げます。

2) これから本協会検査を受検する資機材

表1の塗料のうち、「水道施設の技術的基準を定める省令」で定める浸出試験結果により衛生性が確認された塗料をJWWAK 139 塗料とみなし、この塗料を使用する水道用資機材は、JWWA 規格（製品規格^{注1}）に規定する検査項目を満足することが確認できた場合、JWWA 規格品とします。

2. 水道水に接水しない資機材について

水道水に接水しない資機材（押輪、鉄蓋等）に表1の塗料を使用する場合は、衛生性に影響はないことから、JWWA 規格（製品規格^{注1}）に規定する検査項目を満足することが確認できた場合、JWWA 規格品とします。

3. この取扱いは、令和4年1月17日から令和4年7月31日までとします。

注1 JWWAG 113 水道用ダクタイル鋳鉄管、JWWAG 114 水道用ダクタイル鋳鉄異形管 等の製品規格

表1 出荷自粛要請を継続中のもの

認証登録品名	型式
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	コスモコート#3000
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート 139
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	クボタコート#4100
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	ダクタイル管外面補修用塗料
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	タイセイコート#139
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）二液性エポキシ樹脂塗料	クボタコートEM#1001NFLO
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	ニッチューコートWL#7000 グレー
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	ニッチューコートE#7000 グレー
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコートEM#800 グレー
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート139 (H) グレー

本件について、関係工業会（一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会、日本ダクタイル異形管工業会、水道パ
ルブ工業会）から出荷を自粛している製品リストの提供に協力していただけることとなりました。

できるだけ早く公表できるように取り組みます。

連絡担当：検査部検査課 坂本 TEL 03-3264-2709

神東塗料株式会社のJWWAK 139に関わる塗料を用いた日本水道協会検査品の取扱いについて
(第四報追補版)

(令和4年1月17日の第四報について問い合わせが多くありますので、補足します。)

※追補した箇所は、赤字で示します。

検査品の自肅要請を継続中の水道用資機材に使用される表1の塗料について、暫定的に以下のように扱います。

1. 衛生性の確認を要する水道用資機材について

今後、「水道施設の技術的基準を定める省令」で定める浸出試験結果により衛生性が確認されたものは、水道用資機材として使用することに問題ないと考え、以下の1)、2)のとおり扱います。

1) 既に出荷済みの資機材

既に出荷済みの資機材でも、表1の塗料を用いた資機材は、出荷自肅要請を継続中です。

「水道施設の技術的基準を定める省令」で定める浸出試験結果により衛生性が確認されたのち、その資機材は検査合格品として扱い、出荷自肅の要請を速やかに取り下げます。

2) これから本協会検査を受検する資機材

表1の塗料のうち、「水道施設の技術的基準を定める省令」で定める浸出試験結果により衛生性が確認された塗料をJWWAK 139 塗料とみなし、この塗料を使用する水道用資機材は、JWWA 規格（製品規格^{注1}）に規定する検査項目を満足することが確認できた場合、JWWA 規格品とします。

2. 水道水に接水しない資機材について

水道水に接水しない資機材（押輪、鉄蓋等）に表1の塗料を使用する場合は、衛生性に影響はないことから、JWWA 規格（製品規格^{注1}）に規定する検査項目を満足することが確認できた場合、JWWA 規格品とします。

3. この取扱いは、令和4年1月17日から令和4年7月31日までとします。

注1 JWWAG 113 水道用ダクタイル鋳鉄管、JWWAG 114 水道用ダクタイル鋳鉄異形管 等の製品規格

表1 出荷自肅要請を継続中のもの

認証登録品名	型式
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	コスモコート#3000
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート 139
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	クボタコート#4100
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	ダクタイル管外面補修用塗料
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	タイセイコート#139
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）二液性エポキシ樹脂塗料	クボタコート EM#1001NT-LO
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	ニッチューコート WL#7000 グレー
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	ニッチューコート E#7000 グレー
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート EM#800 グレー
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート 139 (H) グレー

本件について、関係工業会（一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会、日本ダクタイル異形管工業会、水道バ

ルブ工業会) から出荷を自粛している製品リストの提供に協力していただけることとなりました。
できるだけ早く公表できるように取り組みます。

連絡担当：検査部検査課 坂本 TEL 03-3264-2709

令和4年1月18日
公益社団法人日本水道協会

神東塗料株式会社の JWAK 139 に関わる塗料を用いた日本水道協会検査品の取扱いについて（第五報）

第四報にてお知らせしましたが、関係工業会（一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会、日本ダクタイル異形管工業会、水道バルブ工業会）から出荷を自粛している製品リストが提供されました。

つきましては、以下の出荷自粛リストのとおり公表いたします。

- ・ 出荷自粛リストは、令和4年1月18日 17:00 時点で提供されたものです。
- ・ 各工業会は、会員企業（メーカー）の責任において提供された情報から出荷自粛リストを作成しています。
- ・ 出荷自粛リストには、自社ブランドがないメーカーは掲載しておりません。
（例えば、OEM 製品しか製造していないメーカー等）
- ・ 詳細をご確認する場合は、各メーカーにお問い合わせください。
- ・ 出荷自粛リスト以外の製品は、日本水道協会検査合格品として、ご使用いただけます。

連絡担当：検査部検査課 坂本 TEL 03-3264-2709

出荷自粛リスト ダクタイル鋳鉄管

工業会名
日本ダクタイル鉄管協会

1/18 17:00時点

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社クボタ	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社 栗本鐵工所	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
日本鋳鉄管 株式会社	出荷自粛製品はなし			

出荷自粛リスト ダクタイル鋳鉄異形管

工業会名
日本ダクタイル異形管工業会

1/18 17:00時点

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
朝日鑄工株式会社	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社イトー鑄造	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社岡本	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
九州鋳鉄管株式会社	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社クボタ	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社栗本鐵工所	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
クロダイト工業株式会社	GX	ロングバンド	75~200	

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
コスモ工機株式会社	調査中（調査ができ次第公表します）			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
大成機工株式会社	TN-70	メカニカル継ぎ輪乙	全サイズ	
	GX-14BH	GX形片フランジ曲管 7.5GF	全サイズ	
	ST-19BH	S50形片フランジ曲管 7.5GF	全サイズ	
	TS-09T	スマートラインSET型	全サイズ	
	TN-06SN	NS形管用栓	全サイズ	
	GX-11SN	GX形管用栓	全サイズ	
	TF-80S	タイ・フレックス シングル型	全サイズ	受け・挿し組合せ
	TF-80W	タイ・フレックス ダブル型	全サイズ	受け・挿し組合せ
	TN-65	ヤノジョイント	全サイズ	
	TN-65S	S型ヤノジョイント	全サイズ	
	TY-100	エースジョイント	全サイズ	
	TⅡ-07	耐震形割T字管ヤノ・フレックスTⅡ型	全サイズ	ポリ管用挿し口短管を除く
	TⅡ-12	耐震形ヤノT字管 TⅡ型	全サイズ	ポリ管用挿し口短管を除く
	YK-15S	耐震形不断水切替弁	全サイズ	
TV-210Ⅱ	ヤノ・ストッパーⅡ型	全サイズ	Φ250、Φ300は除く	

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
鶴巻工業株式会社	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社遠山鐵工所	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
日本鑄鉄管株式会社	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社ハズ	調査中（調査ができ次第公表します）			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
前澤工業株式会社	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社村瀬鐵工所	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
山岡鉄管株式会社	出荷自粛製品はなし			

出荷自粛リスト バルブ

工業会名
水道バルブ工業会

1/18 17:00時点

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
(株)クボタ	NS形	ソフトシール仕切弁	75～400	受口内面・挿し口外面
	NS形 (E)		75～150	受口内面・挿し口外面
	K形		75～300	受口内面・挿し口外面

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
(株)栗本鐵工所	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
清水工業(株)	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
(株)清水合金製作所	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
(株)清水鐵工所	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
角田鉄工(株)	NS形	ソフトシール仕切弁	75～400	受口内面・挿し口外面
	K形		75～300	受口内面・挿し口外面

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
千代田工業(株)	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
(株)ハズ	出荷自粛製品はなし			

1/18 17:00時点

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
富士鉄工(株)	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
前澤工業(株)	NS形	ソフトシール仕切弁	400	受口内面

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
宮部鉄工(株)	NS形	ソフトシール仕切弁	75~400	受口内面・挿し口外面
	K形		75~300	受口内面・挿し口外面

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
(株)森田鉄工所	出荷自粛製品はなし			

神東塗料株式会社のJWWAK 139に関わる塗料を用いた日本水道協会検査品の取扱いについて（第六報）

第五報にて公表いたしました出荷自粛リストの情報を更新いたしました。更新内容につきましては以下の出荷自粛リストをご確認ください。

- ・ 出荷自粛リストは、令和4年1月19日 17:00 時点で更新されたものです。（更新内容は赤字で示しております）
- ・ 各工業会は、会員企業（メーカー）の責任において提供された情報から出荷自粛リストを作成しています。
- ・ 出荷自粛リストには、自社ブランドがないメーカーは掲載しておりません。
（例えば、OEM 製品しか製造していないメーカー等）
- ・ 詳細をご確認する場合は、各メーカーにお問い合わせください。
- ・ 出荷自粛リスト以外の製品は、日本水道協会検査合格品として、ご使用いただけます。

連絡担当：検査部検査課 坂本 TEL 03-3264-2709

出荷自粛リスト ダクティル鑄鉄管

工業会名
日本ダクティル鉄管協会

1/19 17:00時点

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社クボタ	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社 栗本鐵工所	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
日本鑄鉄管 株式会社	出荷自粛製品はなし			

出荷自粛リスト ダクタイル鋳鉄異形管

工業会名
日本ダクタイル異形管工業会

1/19 17:00時点

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
朝日鋳工株式会社	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社イトー鋳造	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社岡本	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
九州鋳鉄管株式会社	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社クボタ	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社栗本鐵工所	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
クロダイト工業株式会社	GX	ロングバンド	75~200	

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
コスモ工機株式会社	EBT-	ダクタイル鋳鉄製伸縮可換管	全サイズ	NS形、K形、NS形E種
	EBT-	耐震絶縁継手付伸縮可換管	全サイズ	GX形、K形、NS形
	RZJ	耐震絶縁継手	全サイズ	
	MCSP-	管柱鋳鉄管用 直管用、異形管用	全サイズ	GX形、NS形、NS形E種
	S50MCK	管帽鋳鉄管用S50形用	φ50	
	PC2	PCジョイント2型	φ50×75、100	配水ポリ×NS形挿口
	KS1D	ストレナー	全サイズ	
	GJC/0	直管プロテクター	全サイズ	鋳鉄管用、銅管用
	HAC-T、HAB-T	CPプロテクター キャップ付	全サイズ	鋳鉄管用、吋管用
	3DVCS、3DVCS	3Dバルブ	全サイズ	K形受口、挿口
	COG/	COバルブ	全サイズ	K形挿口
	ESTQ	コスモバルブST型鋳鉄管用免震タイプ	全サイズ	K形、NS形
	RLKV	コスモ耐震型ロックバルブ	全サイズ	K形、NS形
	RLKV2KS	コスモ耐震型ロックバルブ2型	全サイズ	K形挿口
	RSTQ	コスモバルブ鋳鉄管用耐震型	全サイズ	K形、NS形
RV	コスモ耐震型ロータリーバルブ	全サイズ	K形挿口、NS形受口	

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
大成機工株式会社	TN-70	メカニカル継ぎ輪乙	全サイズ	
	GX-14BH	GX形片フランジ曲管 7.5GF	全サイズ	
	ST-19BH	S50形片フランジ曲管 7.5GF	全サイズ	
	TS-09T	スマートラインSET型	全サイズ	
	TN-06SN	NS形管用栓	全サイズ	
	GX-11SN	GX形管用栓	全サイズ	
	TF-80S	タイ・フレックス シングル型	全サイズ	受け・挿し組合せ
	TF-80W	タイ・フレックス ダブル型	全サイズ	受け・挿し組合せ
	TN-65	ヤノジョイント	全サイズ	
	TN-65S	S型ヤノジョイント	全サイズ	
	TY-100	エースジョイント	全サイズ	
	TII-07	耐震形割T字管ヤノ・フレックスTII型	全サイズ	ポリ管用挿し口短管を除く
	TII-12	耐震形ヤノT字管 TII型	全サイズ	ポリ管用挿し口短管を除く
	YK-15S	耐震形不断水切替弁	全サイズ	
	TV-210II	ヤノ・ストッパーII型	全サイズ	Φ250、Φ300は除く

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
鶴巻工業株式会社	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社遠山鐵工所	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
日本鑄鉄管株式会社	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社ハズ	GX	ダクタイル鑄鉄異形管	75~250	
	GX	ダクタイル鑄鉄異形管	300	

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
前澤工業株式会社	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社村瀬鐵工所	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
山岡鉄管株式会社	出荷自粛製品はなし			

出荷自粛リスト バルブ

工業会名
水道バルブ工業会

1/19 17:00時点

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
(株)クボタ	NS形	ソフトシール仕切弁	75~400	受口内面・挿し口外面
	NS形 (E)		75~150	受口内面・挿し口外面
	K形		75~300	受口内面・挿し口外面

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
(株)栗本鐵工所	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
清水工業(株)	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
(株)清水合金製作所	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
(株)清水鐵工所	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
角田鉄工(株)	NS形	ソフトシール仕切弁	75~400	受口内面・挿し口外面
	K形		75~300	受口内面・挿し口外面

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
千代田工業(株)	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
(株)ハズ	出荷自粛製品はなし			

1/19 17:00時点

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
富士鉄工(株)	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
前澤工業(株)	NS形	ソフトシール仕切弁	400	受口内面

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
宮部鉄工(株)	NS形	ソフトシール仕切弁	75~400	受口内面・挿し口外面
	K形		75~300	受口内面・挿し口外面

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
(株)森田鉄工所	出荷自粛製品はなし			

神東塗料株式会社のJWWAK 139に関わる塗料を用いた日本水道協会検査品の取扱いについて（第七報）

日本水道協会は、令和4年1月28日に「水道施設の技術的基準を定める省令」で定める浸出試験結果により、下記の塗料について衛生性に問題がないことを確認しました。

当該塗料を使用した水道用資機材についてはこれまで通り安全にご使用いただけます。

また、当該塗料を使用した日本水道協会検査合格品の出荷自粛要請を取り下げるとともに、下記のとおり対応します。

記

1. 「水道施設の技術的基準を定める省令」で定める衛生性が確認された型式

- ・コスモコート#3000

2. 既に検査済みの資機材

1. の塗料を使用して本協会検査に既に合格している水道用資機材については、そのまま検査合格品として扱います。

3. これから本協会検査を受検する資機材

1. の塗料をJWWAK 139 塗料とみなし、この塗料を使用する水道用資機材は、JWWA 規格（製品規格^{注1}）に規定する検査項目を満足することが確認できた場合、JWWA 規格品とします。

4. この取扱いは、令和4年1月28日から令和4年7月31日までとします。

注1 JWWAG 113 水道用ダクタイル鋳鉄管、JWWAG 114 水道用ダクタイル鋳鉄異形管 等の製品規格

認証登録番号 資管 C-3 出荷自粛要請を取り下げたもの（下線部が情報更新）

認証登録品名	型式
<u>水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料</u>	<u>コスモコート#3000</u>
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	クボタコート Dip#300
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）二液性エポキシ樹脂塗料	クボタコート EM#100INT
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	TS コート 139
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート DP
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）二液性エポキシ樹脂塗料	クボタコート#100INT
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	シントーコート AC
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	ニッチューコート WL#2500
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	シントーコート EM#100
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	ニッチューコート E#7000 ブラック
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート 139 (H)
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	ニッチューコート #5700 グレー
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	ニッチューコート #5700AS グレー
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	ニッチューコート #5700 グレー HB
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料（管用）アクリル樹脂塗料	ニッチューコート #5700 グレー（艶あり）

(参考)

認証登録番号 資管 C-3 出荷自粛要請を継続中のもの

認証登録品名	型式
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート 139
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) アクリル樹脂塗料	クボタコート#4100
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) アクリル樹脂塗料	ダクタイル管外面補修用塗料
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	タイセイコート#139
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 二液性エポキシ樹脂塗料	クボタコート EM#1001NT-LO
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	ニッチューコート WL#7000 グレー
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	ニッチューコート E#7000 グレー
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート EM#800 グレー
水道用ダクタイル鋳鉄管用合成樹脂塗料 (管用) 一液性エポキシ樹脂塗料	シントーコート 139 (H) グレー

以上

連絡担当：検査部検査課 坂本 TEL 03-3264-2709

神東塗料株式会社の JWAK 139 に関わる塗料を用いた日本水道協会検査品の取扱いについて（第八報）

第六報にて公表いたしました出荷自粛リストの情報を更新いたしました。更新内容につきましては以下の出荷自粛リストをご確認ください。

- ・ 出荷自粛リストは、令和4年1月28日 17:00 時点で更新されたものです。（更新内容は赤字で示しております）
- ・ 各工業会は、会員企業（メーカー）の責任において提供された情報から出荷自粛リストを作成しています。
- ・ 出荷自粛リストには、自社ブランドがないメーカーは掲載しておりません。
（例えば、OEM 製品しか製造していないメーカー等）
- ・ 詳細をご確認する場合は、各メーカーにお問い合わせください。
- ・ 出荷自粛リスト以外の製品は、日本水道協会検査合格品として、ご使用いただけます。

連絡担当：検査部検査課 坂本 TEL 03-3264-2709

出荷自粛リスト ダクタイル鋳鉄管

工業会名
日本ダクタイル鉄管協会

1/28 17:00時点

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社クボタ	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社 栗本鐵工所	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
日本鋳鉄管 株式会社	出荷自粛製品はなし			

出荷自粛リスト

工業会名
日本ダクタイル異形管工業会

1/28 17:00時点

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
朝日鑄工株式会社	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社イトー鑄造	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社岡本	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
九州鑄鉄管株式会社	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社クボタ	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社栗本鐵工所	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
クロダイト工業株式会社	GX	ロングバンド	75~200	

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
コスモ工機株式会社	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
大成機工株式会社	TN-70	メカニカル継ぎ輪乙	全サイズ	次のものは出荷自粛対象外とする。※ 接水部には認証登録品である水道用ダクタイル鑄鉄管用合成樹脂塗料を使用し塗装する。暫定期間中は識別方法として大成マーク(白)を押印する。
	GX-14BH	GX形片フランジ曲管 7.5GF	全サイズ	出荷自粛継続中
	ST-19BH	S50形片フランジ曲管 7.5GF	全サイズ	
	TS-09T	スマートラインSET型	全サイズ	
	TN-06SN	NS形管用栓	全サイズ	次のものは出荷自粛対象外とする。※ 接水部には認証登録品である水道用ダクタイル鑄鉄管用合成樹脂塗料を使用し塗装する。暫定期間中は識別方法として大成マーク(白)を押印する。
	GX-11SN	GX形管用栓	全サイズ	
	TF-80S	タイ・フレックス シングル型	全サイズ	次のものは出荷自粛対象外とする。※ 受け・押し組み合わせ接合部について、接水部には認証登録品である水道用ダクタイル鑄鉄管用合成樹脂塗料を使用し塗装する。暫定期間中は識別方法として大成マーク(白)を押印する。 GX形については出荷自粛継続中。
	TF-80W	タイ・フレックス ダブル型	全サイズ	
	TN-65	ヤノジョイント	全サイズ	次のものは出荷自粛対象外とする。※ 接水部には認証登録品である水道用ダクタイル鑄鉄管用合成樹脂塗料を使用し塗装する。暫定期間中は識別方法として大成マーク(白)を押印する。
	TN-65S	S型ヤノジョイント	全サイズ	
	TY-100	エースジョイント	全サイズ	
	T II-07	耐震形割T字管ヤノ・フレックスT II型	全サイズ	
	T II-12	耐震形ヤノT字管 T II型	全サイズ	
	YK-15S	耐震形不断水切替弁	全サイズ	
TV-210 II	ヤノ・ストッパー II型	全サイズ	φ250、φ300は出荷自粛対象外。 φ250、φ300以外で、次のものは出荷自粛対象外とする。※ 接水部には認証登録品である水道用ダクタイル鑄鉄管用合成樹脂塗料を使用し塗装する。暫定期間中は識別方法として大成マーク(白)を押印する。	

※) 識別方法として大成マーク(白)が押印されているものは、接水部には認証登録品である水道用ダクタイル鑄鉄管用合成樹脂塗料を使用し塗装していますので、出荷自粛対象外となります。このマークで識別ください。

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
鶴巻工業株式会社	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社遠山鐵工所	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
日本鑄鉄管株式会社	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社ハズ	GX	ダクタイル鑄鉄異形管	75~250	
	GX	ダクタイル鑄鉄異形管	300	

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
前澤工業株式会社	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
株式会社村瀬鐵工所	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
山岡鉄管株式会社	出荷自粛製品はなし			

出荷自粛リスト バルブ

工業会名
水道バルブ工業会

1/28 17:00時点

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
(株)クボタ	NS形	ソフトシール仕切弁	75~400	受口内面・挿し口外面
	NS形 (E)		75~150	受口内面・挿し口外面
	K形		75~300	受口内面・挿し口外面

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
(株)栗本鐵工所	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
清水工業(株)	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
(株)清水合金製作所	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
(株)清水鐵工所	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
角田鉄工(株)	NS形	ソフトシール仕切弁	75~400	受口内面・挿し口外面
	K形		75~300	受口内面・挿し口外面

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
千代田工業(株)	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
(株)ハズ	出荷自粛製品はなし			

1/28 17:00時点

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
富士鉄工(株)	出荷自粛製品はなし			

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
前澤工業(株)	NS形	ソフトシール仕切弁	400	受口内面

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
宮部鉄工(株)	NS形	ソフトシール仕切弁	75~400	受口内面・挿し口外面
	K形		75~300	受口内面・挿し口外面

製造メーカー	形式	製品名	口径	備考
(株)森田鉄工所	出荷自粛製品はなし			

案

建設マスター、建設ジュニアマスターへの推薦数増加の取組について

本会では毎夏、各ブロック事務局を通じ、優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）及び、青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰（建設ジュニアマスター）の推薦に係る案内を送付しているところであるが、近年、別表が示す通り、推薦の申込みが減少傾向にあり、貴重な推薦枠を利用しない状況が多々見受けられるようになっている。

申込み数減少の理由については、審査書類の膨大さ・書類作成の煩雑さなどが考えられるが、業界を支える組合員への福利厚生という観点のみならず、自身の携わる職業を通じた社会貢献に対する表彰は、受賞者にとって何事にも代えがたい大変栄誉なことだと思われる。また建設マスター被顕彰者については、将来の叙勲（二類）推薦にも繋がり、さらなる栄誉への道筋が見込まれるところである。

一方、国土交通省では同顕彰審査委員会において、直近3か年において極端に推薦数が少ない団体や自治体に対しては、個別に候補者選定方法など状況を確認し、選定方法に係るアドバイス等を行い、その上で推薦数の充足が見込めないと判断される場合においては、推薦枠数の見直しを行うことを決めている。

については、このような状況を踏まえ、今後の推薦数の安定確保に努めるべく、令和5年度推薦分より、従来の立候補を重視した方式から全10ブロックより各1名応募頂き、その中から要件を満たし、準備が整ったと判断した候補者を順次推薦、という複数年度の候補者を予め確保・選定する方式の施行を当面の間継続することとし、会員団体からの協力を頂きながら、推薦数不足の解消に努めて参りたい。

○各顕彰の顕彰基準について

1. 優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）

(1) 顕彰基準

- ①技術・技能が優秀であること（一・二級技能士の資格保有、技能グランプリの入賞、一・二級施工管理技士の資格保有、登録基幹技能者など）
- ②技術開発・施工の合理化を図り、かつ建設工事に相当な実績があること（特許・実用新案の開発、新工法・改良工法の提案・実施、施工に関する個人表彰、大規模工事の施工実績など）
- ③後進の指導・育成に努めていること（職業訓練指導員の資格保有、技能検

定委員、指導育成の功績に関する個人表彰、社内OJTの実施など)

- ④工事施工において安全・衛生の向上に貢献していること(厚生労働大臣からの安全優良職長顕彰、安全に関する個人表彰、無事故期間など)
- ⑤他の建設現場従業者の模範たりうること(優秀施工者知事表彰、模範労働者表彰、永年勤続表彰、ボランティア活動の実施など)

(2) 人物像のポイント

- ・一級または二級配管技能士、登録配管基幹技能者、給水装置工事配管技能者、配水管技能者(日水協)等の技能資格を取得して、現に技能者として建設現場業務に直接従事している方。
- ・技能五輪・技能グランプリ出場者、専門校等で配管技能に係る講師をされている方。

2. 青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰(建設ジュニアマスター)

(1) 顕彰基準

- ①技術・技能が優秀であること(次のいずれかに該当する者 技能検定(一級、単一等級)または登録基幹技能者、全国規模の競技大会出場経歴、上記に準ずる技能を有する者)
- ②技能・技術に関する工夫・改善に努め技術開発・施工の合理化に貢献していること(作業上の段取りに関する創意工夫、新工法・改良工法の現場への導入提案など)
- ③将来その活躍が一層期待されること(①以外の資格の取得、CPD・講習会等への参加など技能・技術の向上に意欲的であること)
- ④工事施工において安全・衛生の向上に貢献していること(職長教育修了など)
- ⑤勤務成績、日常行為等において他の建設現場従事者の模範であること(勤務成績、ボランティア活動、日常行為など雇用者等の評価)

(2) 人物像のポイント

- ・一級または二級配管技能士等の技能資格を取得して、現に技能者として建設現場業務に直接従事している方。
- ・過去に技能五輪・技能グランプリ、その他都道府県主催の技能大会等に出場されている方。

建設マスター、建設ジュニアマスターへの推薦数増加の取組について

これまで

【全管連】

- ・各ブロック事務局を通じ、優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）及び、青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰（建設ジュニアマスター）の推薦の案内を送付
- ・推薦の申込みが減少傾向にあり、貴重な推薦枠を利用しない状況
- ・申込み数減少の理由：審査書類の膨大さ・書類作成の煩雑さなど

【国土交通省】

- ・直近3か年において極端に推薦数が少ない団体等に対し、個別に候補者選定方法などの確認・アドバイス等を行い、その上で推薦数の充足が見込めないと判断される場合は、推薦枠数の見直しを行うことを決定



- ・自身の携わる職業を通じた社会貢献に対する表彰は、組合員への福利厚生のみならず、受賞者にとって大変栄誉なこと
- ・建設マスター被顕彰者については、将来の叙勲（二類）推薦にも繋がりが、さらなる栄誉への道筋が見込まれる



令和5年度推薦分より

- ・従来の立候補を重視した方式から、全10ブロックより必ず1名ずつ応募いただき、その中から要件を満たし準備の整った候補者を順次推薦する方式へ変更
- ・複数年度の候補者を予め確保・選定するこの方式を当面の間継続することで、推薦数不足の解消に努める

◆◆◆ 申請書類の作成については、全管連事務局でも既存例をお示しするなど引き続きサポートいたします ◆◆◆

- ・令和3年12月：推薦依頼
建設マスター：都道府県、地方整備局等、建設業者団体あて依頼
建設ジュニアマスター：建設業者団体あて依頼
- ・令和4年 3月：推薦受付締切
- ・令和4年 4月：審査委員会委員の改選
(令和4年3月で委嘱期間2年を終了する各委員の改選及び再委嘱手続き)
- ・令和4年 7月～8月：審査委員会の開催
(建設マスター、建設ジュニアマスター、ものづくり日本大賞の候補者選考)
- ・令和4年 秋頃：顕彰式典の開催
- ・時期未定：ものづくり日本大賞

優秀施工者国土交通大臣顕彰審査委員会委員

- 天 野 宏 昌 (一社)日本建築板金協会会長
- 岩 田 正 吾 (一社)建設産業専門団体連合会会長
- 岡 村 美 好 山梨大学准教授
- 奥 村 太加典 (一社)全国建設業協会会長
- 佐々木 基 (一財)建設業振興基金理事長
- 柴 崎 祐 一 (一社)全国クレーン建設業協会会長
- 藤 川 幸 造 全国管工事業協同組合連合会会長
- 古 阪 秀 三 立命館大学客員教授
- マリ クリステイヌ 異文化コミュニケーター
- 宮 本 洋 一 (一社)日本建設業連合会会長
- 義 村 敦 子 成蹊大学教授

11名

(敬称略・50音順、○：委員長)

参考資料2

令和3年度建設マスター推薦主体別 推薦状況

推薦無し

番号	建設業団体	推薦枠	推薦数	充足率	番号	建設業団体	推薦枠	推薦数	充足率	番号	各都道府県	推薦枠	推薦数	充足率
1	(一社)日本建設業連合会	25	43	172%	48	全国浸漬業協会	3	3	100%	15	新潟県	4	4	100%
2	(一社)日本建設業経営協会	10	1	10%	49	全国建具組合連合会	1	0	0%	16	富山県	4	4	100%
3	(一社)全国中小建設業協会	10	4	40%	50	(一社)全国ダクト工業団体連合会	1	0	0%	17	石川県	4	3	75%
4	(一社)日本道路建設業協会	10	10	100%	51	全国ポンプ・圧送船協会	3	3	100%	18	福井県	4	4	100%
5	(一社)建築開口部協会	3	3	100%	52	全日本電気工業業工業組合連合会	6	6	100%	19	山梨県	4	4	100%
6	(一社)消防施設工事協会	3	2	67%	53	(一社)日本屋外広告業団体連合会	1	0	0%	20	長野県	4	1	25%
7	全国圧接業協同組合連合会	4	4	100%	54	(一財)中小建設業住宅センター	5	6	120%	21	岐阜県	4	3	75%
8	全国管工事業協同組合連合会	7	2	29%	55	(一社)情報通信エンジニアリング協会	2	2	100%	22	静岡県	4	4	100%
9	(一社)全国基礎工事業団体連合会	2	2	100%	56	(一社)日本ウエルポイント協会	3	1	33%	23	愛知県	5	3	60%
10	(一社)全国クレーン建設業協会	4	4	100%	57	(一社)日本運動施設建設業協会	1	1	100%	24	三重県	3	1	33%
11	(一社)全国建設室内工事業協会	5	5	100%	58	(一社)日本エレベーター協会	3	3	100%	25	滋賀県	4	4	100%
12	(一社)全国コンクリート圧送事業団体連合会	3	3	100%	59	(一社)日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会	3	3	100%	26	京都府	4	6	150%
13	ダイヤモンド工事業協同組合	2	2	100%	60	(一社)日本橋梁建設協会	7	8	114%	27	大阪府	5	4	80%
14	(一社)全国タイル業協会	3	3	100%	61	(一社)日本金属屋根協会	3	2	67%	28	兵庫県	5	5	100%
15	(公社)全国鉄筋工事業協会	9	8	89%	62	(一社)日本グラウト協会	4	5	125%	29	奈良県	3	0	0%
16	(一社)全国縦構工業協会	1	0	0%	63	(公社)日本エクステリア建設業協会	3	2	67%	30	和歌山県	4	4	100%
17	(一社)全国道路標識・標示業協会	5	4	80%	64	(公社)日本推進技術協会	3	2	67%	31	鳥取県	4	5	125%
18	(一社)全国防水工事業協会	4	4	100%	65	(一社)日本下水道施設業協会	1	0	0%	32	島根県	4	4	100%
19	全国マステック事業協同組合連合会	3	3	100%	66	(一社)日本サッシ協会	3	3	100%	33	岡山県	3	0	0%
20	(一社)全日本瓦工事業連盟	5	5	100%	67	(一社)全国住宅産業協会	2	0	0%	34	広島県	3	0	0%
21	(一社)鉄骨建設業協会	4	0	0%	68	(一社)日本ツーバイフォー建築協会	3	3	100%	35	山口県	4	4	100%
22	(一社)日本アンカー協会	3	3	100%	69	(一社)日本内燃力発電設備協会	4	4	100%	36	徳島県	4	3	75%
23	(一社)日本ウレタン断熱協会	1	0	0%	70	(一社)日本木造住宅産業協会	3	4	133%	37	香川県	4	4	100%
24	日本外壁仕上業協同組合連合会	3	0	0%	71	(一社)日本保温保冷工業協会	3	3	100%	38	愛媛県	4	3	75%
25	(一社)日本機械土工協会	5	5	100%	72	(一社)日本冷凍空調設備工業連合会	4	2	50%	39	高知県	4	3	75%
26	(一社)日本基礎建設協会	1	1	100%	73	(一社)プレハブ建築協会	4	2	50%	40	福岡県	5	6	120%
27	日本建設インテリヤ事業協同組合連合会	5	4	80%	74	(一社)日本トンネル専門工事業協会	2	2	100%	41	佐賀県	4	5	125%
28	(一社)日本建設躯体工事業団体連合会	5	6	120%	75	(一社)JBN・全国工務店協会	2	2	100%	42	長崎県	4	2	50%
29	(一社)日本型枠工事業協会	5	5	100%	76	(一社)全国特定法面保護協会	1	1	100%	43	熊本県	4	2	50%
30	(一社)日本建築板金協会	5	5	100%	77	(一社)日本海上起重技術協会	1	1	100%	44	大分県	4	4	100%
31	(一社)日本左官業組合連合会	7	2	29%	78	(一社)日本潜水協会	1	1	100%	45	宮崎県	4	4	100%
32	日本室内装飾事業協同組合連合会	3	3	100%		計	313	274	88%	46	鹿児島県	4	4	100%
33	(一社)日本シャッター・ドア協会	4	4	100%	番号	各都道府県	推薦枠	推薦数	充足率	47	沖縄県	4	2	50%
34	(一社)日本造園組合連合会	7	6	86%	1	北海道	5	4	80%		計	190	153	81%
35	(一社)日本造園建設業協会	5	7	140%	2	青森県	4	2	50%		地方整備局等	推薦枠	推薦数	充足率
36	(一社)日本タイル煉瓦工事業協会	3	3	100%	3	岩手県	4	4	100%	48	大臣官房警備部	2	2	100%
37	(一社)日本塗装工業会	5	5	100%	4	宮城県	4	4	100%	49	北海道開発局	5	6	120%
38	(一社)日本窯工業連合会	4	1	25%	5	秋田県	4	4	100%	50	東北地方整備局	5	7	140%
39	(一社)日本空調衛生工事業協会	5	5	100%	6	山形県	4	3	75%	51	関東地方整備局	5	5	100%
40	(一社)日本計装工業会	4	4	100%	7	福島県	4	4	100%	52	北陸地方整備局	5	7	140%
41	(一社)日本電設工業協会	7	4	57%	8	茨城県	3	4	133%	53	中部地方整備局	5	4	80%
42	(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会	4	4	100%	9	栃木県	4	5	125%	54	近畿地方整備局	5	8	160%
43	(一社)斜面防災対策技術協会	2	2	100%	10	群馬県	4	1	25%	55	中国地方整備局	5	5	100%
44	(一社)情報通信設備協会	5	5	100%	11	埼玉県	5	3	60%	56	四国地方整備局	5	6	120%
45	全国板硝子工事協同組合連合会	3	3	100%	12	千葉県	4	2	50%	57	九州地方整備局	5	7	140%
46	(公社)全国解体工事業団体連合会	1	0	0%	13	東京都	5	4	80%	58	沖縄総合事務局	3	4	133%
47	(一社)全国さく井協会	3	0	0%	14	神奈川県	4	0	0%		計	50	61	122%
											合計	553	488	88%

令和3年度建設ジュニアマスター推薦主体別 推薦状況

推薦無し

番号	建設業団体	推薦枠	推薦数	充足率	番号	建設業団体	推薦枠	推薦数	充足率	番号	建設業団体	推薦枠	推薦数	充足率
1	(一社)日本建設業連合会	4	10	250%	27	日本建設IT/A7事業協同組合連合会	2	2	100%	53	(一社)日本屋外広告業団体連合会	1	0	0%
2	(一社)日本建設業経営協会	4	0	0%	28	(一社)日本建設躯体工事業団体連合会	2	2	100%	54	(一財)中小建設業住宅センター	3	1	33%
3	(一社)全国中小建設業協会	4	4	100%	29	(一社)日本型枠工事業協会	3	3	100%	55	(一社)情報通信エンジニアリング協会	1	1	100%
4	(一社)日本道路建設業協会	4	4	100%	30	(一社)日本建築板金協会	3	3	100%	56	(一社)日本ウェルポイント協会	1	0	0%
5	(一社)建築開口部協会	2	0	0%	31	(一社)日本左官業組合連合会	3	0	0%	57	(一社)日本運動施設建設業協会	1	1	100%
6	(一社)消防施設工事協会	2	2	100%	32	日本室内装飾事業協同組合連合会	2	0	0%	58	(一社)日本エレベーター協会	3	2	67%
7	全国圧接業協同組合連合会	2	2	100%	33	(一社)日本シャッター・ドア協会	2	2	100%	59	(一社)日本橋梁・鋼構造物建設技術協会	2	2	100%
8	全国管工事業協同組合連合会	3	2	67%	34	(一社)日本造園組合連合会	3	1	33%	60	(一社)日本橋梁建設協会	3	3	100%
9	(一社)全国基礎工事業団体連合会	1	2	200%	35	(一社)日本造園建設業協会	2	0	0%	61	(一社)日本金属屋根協会	2	1	50%
10	(一社)全国クレーン建設業協会	2	2	100%	36	(一社)日本タイル煉瓦工事業協会	2	1	50%	62	(一社)日本グラウト協会	2	4	200%
11	(一社)全国建設室内工事業協会	3	3	100%	37	(一社)日本塗装工業会	2	2	100%	63	(公社)日本エクステリア建設業協会	2	1	50%
12	(一社)全国コンクリート圧送事業団体連合会	2	2	100%	38	(一社)日本葺工業連合会	2	0	0%	64	(公社)日本推進技術協会	2	0	0%
13	ダイヤモンド工事業協同組合	1	1	100%	39	(一社)日本空調衛生工事業協会	2	2	100%	65	(一社)日本下水道施設業協会	1	0	0%
14	(一社)全国タイル業協会	2	2	100%	40	(一社)日本計装工業会	2	1	50%	66	(一社)日本サッシ協会	2	2	100%
15	(公社)全国鉄筋工事業協会	3	3	100%	41	(一社)日本電設工業協会	3	2	67%	67	(一社)全国住宅産業協会	2	0	0%
16	(一社)全国鐵構工業協会	1	0	0%	42	(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会	2	2	100%	68	(一社)日本ツーバイフォー建築協会	2	0	0%
17	(一社)全国道路標識・標示業協会	3	3	100%	43	(一社)斜面防災対策技術協会	1	0	0%	69	(一社)日本内燃力発電設備協会	2	3	150%
18	(一社)全国防水工事業協会	2	2	100%	44	(一社)情報通信設備協会	2	2	100%	70	(一社)日本木造住宅産業協会	2	2	100%
19	全国マステック事業協同組合連合会	2	1	50%	45	全国板硝子工事協同組合連合会	2	2	100%	71	(一社)日本保温保冷工業協会	2	2	100%
20	(一社)全日本瓦工事業連盟	2	2	100%	46	(公社)全国解体工事業団体連合会	1	0	0%	72	(一社)日本冷凍空調設備工業連合会	2	0	0%
21	(一社)鉄骨建設業協会	2	0	0%	47	(一社)全国さく井協会	2	0	0%	73	(一社)プレハブ建築協会	2	1	50%
22	(一社)日本アンカー協会	2	1	50%	48	全国浚渫業協会	1	1	100%	74	(一社)日本トンネル専門工事業協会	1	1	100%
23	(一社)日本ウレタン断熱協会	1	0	0%	49	全国建具組合連合会	1	0	0%	75	(一社)JBN・全国工務店協会	1	1	100%
24	日本外壁仕上業協同組合連合会	1	0	0%	50	(一社)全国ダクト工業団体連合会	1	0	0%	76	(一社)全国特定法面保護協会	1	1	100%
25	(一社)日本機械土工協会	3	3	100%	51	全国ポンプ・圧送船協会	1	1	100%	77	(一社)日本海上起重技術協会	1	1	100%
26	(一社)日本基礎建設協会	1	1	100%	52	全日本電気工事業工業組合連合会	3	3	100%	78	(一社)日本潜水協会	1	1	100%
合計												156	115	74%

全管連発 4 第 号
令和 4 年 月 日

全管連
ブロック担当副会長 各位

全国管工事業協同組合連合会
会 長 藤 川 幸 造
(押印省略)

令和 5、6 年度における優秀施工者国土交通大臣顕彰候補者の推薦について（依頼）
—各ブロックより 1 名応募くださるようお願いします—

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、国土交通省では、優れた建設技術・技能労働者を対象に「ものづくり」に携わっている者の誇りと意欲を増進させるとともに、その社会的評価・地位の向上を図り、建設業の健全な発展に資することを目的として、毎年度、国土交通大臣が顕彰を行っており、毎年、本会推薦の候補者が顕彰されておりますが、近年、推薦の申込みが減少傾向にあり、貴重な推薦枠を利用しない状況が多々見受けられるようになっていきます。

一方、国土交通省では同顕彰審査委員会において、直近 3 か年において極端に推薦数が少ない団体や自治体に対しては、個別に候補者選定方法など状況を確認し、選定方法に係るアドバイス等を行い、その上で推薦数の充足が見込めないと判断される場合においては、推薦枠数の見直しを行うこととしています。

については、このような状況を踏まえ、今後の推薦数の安定確保に努めるべく、別紙 1 の通り、令和 5 年度推薦分より、従来の立候補を重視した方式から全 10 ブロックより各 1 名応募頂き、その中から要件を満たし、準備が整ったと判断した候補者を令和 5、6 年度に順次推薦、という複数年度の候補者を予め確保・選定する方式の施行を当面の間継続することとし、会員団体からの協力を頂きながら、推薦数不足の解消に努めて参りたいと存じます。

各ブロックにおかれては、候補者 1 名を推薦いただき、審査表（様式 2）を 8 月○
○日（○）までにメールまたは F A X にてご送付下さい。

なお、ご応募頂いた候補者については、総務部会での審議を経て決定しますが、国土交通省へ推薦する年度については、ご一任頂きますことを予めご了承下さい。

参考までに、令和 4 年度の顕彰要領及び提出書類作成要領、過去の顕彰歴を同封いたします。

また令和 3 年度の国土交通省の依頼文書より、「推薦される候補者は、建設キャリアアップシステム（CCUS）に登録されている技能労働者が望ましい」とされていますので、候補者の選定にあたってはご留意願います。

敬具

本件に関するお問い合わせは、事務局・阿蘇までお願いします。

候補者は、必ず配管技能者などの技能資格を有している方の中から選考下さい。
技術者資格だけでは顕彰の対象となりません。

提出書類は、様式により作成してください。フォーマットデータをご希望の方はご連絡下さい。

○今後の日程（予定）

令和4年	8月〇〇日	予備調査締切
	12月中旬	国土交通省より推薦依頼（別途送付いたします）
令和5年	1月下旬	推薦書類提出（組合→全管連）
	2月中旬	推薦書類提出（全管連→国土交通省）
	10月初旬	顕彰式

○今回お送りした資料（国交省からの令和5年度の候補者推薦依頼文は、令和4年12月中旬頃送付する予定です）

①表彰制度について	1枚
②顕彰者一覧（別紙1）	1枚
③優秀施工者国土交通大臣顕彰候補者の推薦について	17枚
④優秀施工者国土交通大臣顕彰候補者提出書類	11枚
⑤優秀施工者国土交通大臣顕彰候補者提出書類の作成例	26枚

以上

優秀施工者国土交通大臣顕彰 7名

- (選考基準) ①年齢40歳以上65歳以下 現場業務従事経験20年以上 無事故期間3年以上
 ②長年にわたる直接工事施工経験があり、現場管理能力を修得したものの③女性技能労働者の推薦人数は上限なし
 ④令和3年度推薦書類より建設キャリアアップシステムへの登録状況欄が新設

推薦なし

	第21回 H24.10.18	第22回 H25.10.17	第23回 H26.10.10	第24回 H27.10.9	第25回 H28	第26回 H29	第27回 H30	第28回 R元	第29回 R2	第30回 R3	第31回 R4	第32、33回 R5、R6
北海道 467								北海道連				1名
東北 1,354		山形県連 宮城県連						宮城県連	宮城県連			1名
関東 3,373	秋田県連											1名
東京 1,428	埼玉県連 三多摩					三多摩					東京都連	1名
北信越 1,620												1名
中部 1,853								静岡県連				1名
近畿 1,778	和歌山県連								和歌山県連	奈良県連		1名
中国 578									岡山			1名
四国 700		高知	徳島		香川県連	徳島	徳島	高知	香川県連	徳島県連	徳島県連	1名
九州 1,710			長崎県連									1名
合計	14,861社 (注. 所属業者数。令和3年10月1日現在)											

全管連発 4 第 号
令和 4 年 月 日

全管連
ブロック担当副会長 各位

全国管工事業協同組合連合会
会 長 藤 川 幸 造
(押印省略)

令和 5、6、7 年度における青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰
候補者の推薦について (依頼)
—各ブロックより 1 名応募くださるようお願いします—

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、国土交通省では、建設産業における担い手確保・育成方策の一環として、平成 26 年 7 月に表記顕彰制度を創設し、平成 27 年度より実施されています。毎年、本会推薦の候補者が顕彰されておりますが、近年、推薦の申込みが減少傾向にあり、貴重な推薦枠を利用しない状況が多々見受けられるようになってい

ます。一方、国土交通省では同顕彰審査委員会において、直近 3 か年において極端に推薦数が少ない団体や自治体に対しては、個別に候補者選定方法など状況を確認し、選定方法に係るアドバイス等を行い、その上で推薦数の充足が見込めないと判断される場合においては、推薦枠数の見直しを行うこととしています。

ついては、このような状況を踏まえ、今後の推薦数の安定確保に努めるべく、別紙 1 の通り、令和 5 年度推薦分より、従来の立候補を重視した方式から全 10 ブロックより各 1 名応募頂き、その中から要件を満たし、準備が整ったと判断した候補者を令和 5～7 年度に順次推薦、という複数年度の候補者を予め確保・選定する方式の施行を当面の間継続することとし、会員団体からの協力を頂きながら、推薦数不足の解消に努めて参りたいと存じます。

各ブロックにおかれては、候補者 1 名を推薦いただき、審査表 (様式 12) を 8 月〇〇日 (〇) までにメールまたは FAX にてご送付下さい。

なお、ご応募頂いた候補者については、総務部会での審議を経て決定しますが、国土交通省へ推薦する年度については、ご一任頂きますことを予めご了承下さい。

参考までに、令和 4 年度の顕彰要領及び提出書類作成要領、過去の顕彰歴を同封いたします。

また令和 3 年度の国土交通省の依頼文書より、「推薦される候補者は、建設キャリアアップシステム (CCUS) に登録されている技能労働者が望ましい」とされていますので、候補者の選定にあたってはご留意願います。

敬具

本件に関するお問い合わせは、事務局・阿蘇までお願いします。

候補者は、必ず配管技能者などの技能資格を有している方の中から選考下さい。
技術者資格だけでは顕彰の対象となりません。

提出書類は、様式により作成してください。フォーマットデータをご希望の方はご連絡下さい。

○今後の日程（予定）

令和4年	8月〇〇日	予備調査締切
	12月中旬	国土交通省より推薦依頼（別途送付いたします）
令和5年	1月下旬	推薦書類提出（組合→全管連）
	2月中旬	推薦書類提出（全管連→国土交通省）
	10月初旬	顕彰式

○今回お送りした資料（国交省からの令和5年度の候補者推薦依頼文は令和4年12月中旬頃送付する予定です）

①表彰制度について	1枚
②顕彰者一覧（別紙1）	1枚
③青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰候補者の推薦について	17枚
④青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰候補者提出書類	11枚
⑤青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰候補者提出書類の作成例	26枚

以上

青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰 3名

〔選考基準〕①年齢39歳以下 建設現場業務期間10年以上 無事故期間3年以上

②技術・技能が優秀かつ、技術開発・施工の合理化に貢献している

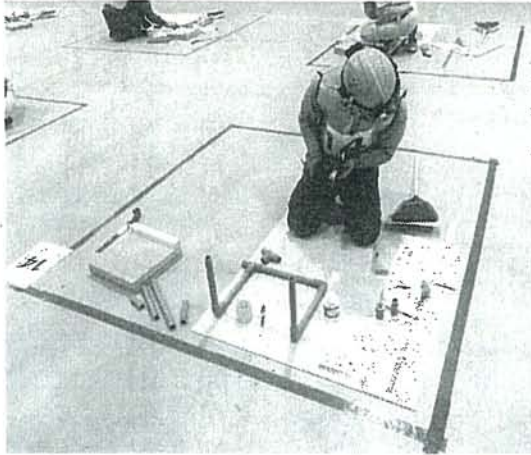
③令和3年度推薦書類より建設キャリアアップシステムへの登録状況欄が新設

	第1回 H27.10.9	第2回 H28	第3回 H29	第4回 H30	第5回 R元	第6回 R2	第7回 R3	第8回 R4	第9~11回 R5~R7
北海道 467	北海道連						北海道連		1名
東北 1,354	宮城県連					宮城県連			1名
関東 3,373									1名
東京 1,428			三多摩						1名
北信越 1,620	富山県連 ----- 福井県連								1名
中部 1,853					静岡県連				1名
近畿 1,778									1名
中国 578									1名
四国 700		香川県連	愛媛県連	徳島	香川県連	香川県連	香川県連	徳島県連	1名
九州 1,710									1名

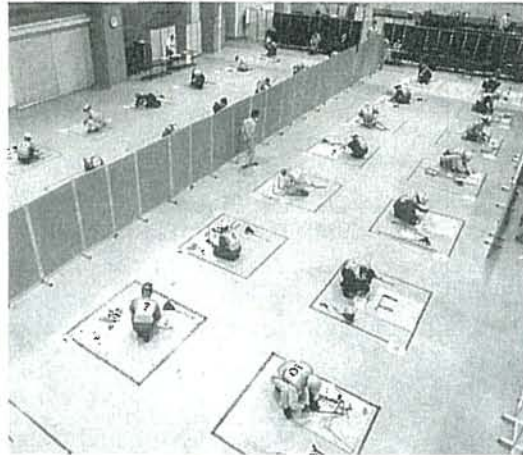
合計 14,861社 (注. 所属業者数。令和3年10月1日現在)

配管職種で初の特定技能一号 評価試験 実施される

11月25日に東京都立多摩職業能力開発センターで配管職種で初の国内試験を実施



実技試験の様子



新型コロナウイルス感染症対策として受験生と受験生の間隔を空けて実技試験を実施



試験運営に協力を頂いた全管連・JACの方々と共に



学科試験の様子

改正出入国管理法(入管法)に基づく新在留資格(特定技能外国人)の受け入れに向け、全管連と(一社)建設技能人材

機構(JAC)は十一月二十五日、東京都昭島市の東京都立多摩職業能力開発センターで「配管職種」の技能試験を実施した。同分野では国内外通じて初めての特定技能一号評価試験となる。試験は同センターで午前九時から実施され、八十名が受験した。学科試験は実技試験終了者から順次実施された。合格発表は、十一月三十日にJACホームページに掲載された(受験者八十名、合格者数三十三名、合格率四十二%)。合格した場合、各個人宛の合格証明書がマイページに送られた。

実技試験の基準点は超えたが学科試験の基準点を満たさなかった受験生は、学科追試験を受験できる。追試験は十二月十六日にJACで実施する。追加の受験料は不要で、対象者には試験案内を送付した。

特定技能外国人を受入れるルートは、①技能実習生からの転換、②外国において実施する日本語及び技能に係る試験に合格するの二通り以外に「国内評価試験」、「国内技能検定三級(一部職種のみ)」がある。

配管職種における令和三年度特定技能一号試験の募集・受付はJACが行い、当日の実技試験等の運営を全管連が協力する形で実施された。

なお、本会関係の特定技能評価試験委員は次のとおり。(順不同)
▽松本正美氏(全管連理事・技術部長、三多摩管工事協同組合理事長)
▽金子 達之輔氏(三多摩管工事協同組合理事)
▽渡邊弘幸氏(東京都管工事工業協同組合技術委員)
▽網田健志氏(元東京都管工事工業協同組合技術委員)
▽阿部弘之氏(全管連技術参与)
▽茨木 繁氏(全管連技術参与、JAC事業部プロジェクトリーダー)

令和3年11月 建設分野特定技能1号技能評価試験結果

試験日	実施場所	職種	受験者数	合格者数	合格率
令和3年11月11日	日本 (東京都)	海洋土木工	9	9	100%
令和3年11月25日	日本 (東京都)	配管	80	41	51%

※受験者には、建設技能人材機構の技能評価試験マイページにて、結果通知します。
 ※試験問題の内容、個別の採点結果等についての問い合わせにはお答えできません。

(報告事項5)

全管連 管工事賠償補償制度について

管工事賠償補償制度に係る下記2点について報告いたします。

- 1) 制度運営費の配賦割合及び制度推進事務費について
- 2) 今後の制度推進について

1) 制度運営費の配賦割合及び制度推進事務費について

令和2年11月～令和3年10月における本制度の制度運営費は約14,444万円であり、昨年度より792万円ほど増加している。昨年度は支部手数料率を制度運営費の54%としたが、今年度も54%（約7,800万円）としたい。また、制度推進事務費はこれまで所属業者1社あたり200円としてきたが、加入者のさらなる獲得のためには会員組合の積極的なご協力が必要であることから、1社あたり400円（総額約597万円）に増額したい。

以上、支部手数料と制度推進事務費を合わせた約8,397万円をお支払いすることについてご検討賜りたい。

〔昨年度〕

制度運営費：本部手数料	46%	
：支部手数料	54%	約7,372万円
制度推進事務費	・・・・・・・・・・・・・・・・	約302万円
（所属業者1社あたり200円）		<u>計 約7,674万円</u>

→令和3年2月に
会員組合へお
支払い

〔今年度〕

- ・本年度の加入件数は1,568件。昨年度比で21件の増加（加入目標件数53件（△32件））
- ・今年度の制度運営費は約14,444万円となり、昨年度比約792万円の増加

	加入件数	制度運営費	組合配賦額
本年度 (A)	1,568	144,445,640	78,000,646
昨年度 (B)	1,547	136,522,610	73,722,209
増減 (A-B)	21	7,923,030	4,278,437

【審議事項】

- (1) 令和2年度における制度運営費の配賦割合について、本部手数料約46%、支部手数料約54%（約7,800万円）とする
- (2) 例年は所属業者1社あたり200円としている制度推進事務費について、本年度は400円に増額する（所属業者14,933社×400円＝約597万円）
- (3) (1)と(2)を合わせた約8,397万円を令和4年2月末日までに会員にお支払いする

空白ページ

管工事賠償補償制度 全国推進状況

54%

都道府県	会員団体	令和3年 4月現在	平成22年 11月1日	平成24年 11月1日	令和元年度(令和2年10月末日現在) 年間実績額						令和2年度(令和3年10月末日現在) 年間見込額						
		会員数	加入件数	加入件数	加入件数	加入率	①年間掛金	②年間保険料	③制度運営費 =①-②	※組合配賦額 =③×54%	加入件数	加入率	①年間掛金	②年間保険料	③制度運営費 =①-②	※組合配賦額 =③×54%	
1	北海道	北海道管工事業協同組合連合会	462	12	16	54	11.6%	23,653,420	16,769,120	6,884,300	3,717,522	53	11.5%	21,956,640	15,126,120	6,830,520	3,688,481
2	青森県	青森県管工事業協同組合連合会	196	6	7	19	9.3%	11,556,240	8,202,360	3,353,880	1,811,095	19	9.7%	12,091,770	8,340,360	3,751,410	2,025,761
3	岩手県	岩手県管工事業協同組合連合会	154	2	4	16	10.3%	6,385,440	4,525,320	1,860,120	1,004,465	13	8.4%	4,803,960	3,310,800	1,493,160	806,306
4	宮城県	宮城県管工事業協同組合連合会	288	6	10	28	10.3%	11,411,820	8,090,440	3,321,380	1,793,545	28	9.7%	11,543,310	7,950,540	3,592,770	1,940,096
5	秋田県	秋田県管工事業協同組合連合会	219	23	24	43	19.5%	17,295,680	12,270,280	5,025,400	2,713,716	44	20.1%	15,911,100	10,966,260	4,944,840	2,670,214
6	山形県	山形県管工事業協同組合連合会	251	18	20	48	19.0%	13,356,450	9,464,940	3,891,510	2,101,415	48	19.1%	12,484,350	8,596,650	3,887,700	2,099,358
7	福島県	福島県管工事協同組合連合会	250	3	3	17	6.7%	5,937,320	4,212,040	1,725,280	931,651	21	8.4%	6,652,270	4,585,600	2,066,670	1,116,002
8	茨城県	茨城県管工事業協同組合連合会	321	4	7	47	14.6%	14,551,150	10,313,610	4,237,540	2,288,272	46	14.3%	14,153,880	9,751,680	4,402,200	2,377,188
9	栃木県	栃木県管工事業協同組合連合会	527	30	49	125	23.8%	38,369,600	27,214,480	11,155,120	6,023,765	126	23.9%	38,179,470	26,313,290	11,866,180	6,407,737
10	群馬県	群馬県水道工事業組合連合会	199	2	2	16	7.9%	4,201,500	2,978,740	1,222,760	660,290	16	8.0%	4,313,640	2,972,160	1,341,480	724,399
11	埼玉県	埼玉県管工事業協同組合連合会	837	2	8	71	8.3%	26,533,470	19,714,850	6,818,620	3,682,055	75	9.0%	24,000,060	17,357,050	6,643,010	3,587,225
12	千葉県	千葉県管工事業協同組合連合会	650	22	24	52	7.8%	14,949,660	10,606,580	4,343,080	2,345,263	58	8.9%	29,536,820	20,509,240	9,027,580	4,874,893
13	山梨県	甲府市管工事協同組合	46	0	0	10	20.8%	2,115,120	1,500,240	614,880	332,035	12	26.1%	2,950,180	2,033,760	916,420	494,867
14	東京都	東京都管工事業協同組合連合会	1,431	5	13	96	6.6%	27,570,030	19,544,610	8,025,420	4,333,727	97	6.8%	27,491,090	18,938,060	8,553,030	4,618,636
15	神奈川県	神奈川県管工事業協同組合連合会	785	5	8	50	6.3%	12,959,120	9,187,450	3,771,670	2,036,702	51	6.5%	12,010,200	8,271,240	3,738,960	2,019,038
16	新潟県	新潟県水道工事業協同組合連合会	579	6	9	62	10.7%	18,453,820	13,082,440	5,371,380	2,900,545	65	11.2%	19,415,970	13,374,960	6,041,010	3,262,145
17	富山県	富山県管工事業協同組合連合会	337	3	6	14	4.1%	4,211,660	2,983,700	1,227,960	663,098	15	4.5%	4,951,920	3,408,600	1,543,320	833,393
18	石川県	石川県管工事業協同組合連合会	312	16	18	32	10.1%	5,964,840	4,228,080	1,736,760	937,850	32	10.3%	5,709,960	3,932,280	1,777,680	959,947
19	福井県	福井県管工事業協同組合連合会	187	7	10	47	25.1%	18,771,040	13,312,810	5,458,230	2,947,444	46	24.6%	17,513,280	12,068,400	5,444,880	2,940,235
20	長野県	長野県水道工事業協同組合連合会	207	3	2	4	1.9%	1,343,520	952,800	390,720	210,989	3	1.4%	1,691,760	1,167,360	524,400	283,176
21	岐阜県	岐阜県管設備工業協同組合	468	11	13	34	7.2%	12,076,240	8,566,460	3,509,780	1,895,281	37	7.9%	11,242,010	7,749,950	3,492,060	1,885,712
22	静岡県	静岡県管工事業協同組合連合会	315	3	10	39	12.1%	7,385,160	5,235,720	2,149,440	1,160,698	39	12.4%	6,006,320	4,134,800	1,871,520	1,010,621
23	愛知県	愛知県管工事業協同組合連合会	905	12	15	39	4.3%	12,174,960	8,631,720	3,543,240	1,913,350	40	4.4%	12,921,930	8,903,610	4,018,320	2,169,893
24	三重県	三重県水道工事業協同組合連合会	174	2	2	9	5.1%	3,494,080	2,474,960	1,019,120	550,325	11	6.3%	4,549,520	3,134,580	1,414,940	764,068
25	滋賀県	滋賀県管工事業協同組合連合会	174	3	3	26	14.5%	6,549,460	4,642,000	1,907,460	1,030,028	26	14.9%	6,613,200	4,555,560	2,057,640	1,111,126
26	京都府	京都府管工事業協同組合連合会	254	6	5	9	3.5%	1,292,780	915,710	377,070	203,618	9	3.5%	1,584,720	1,092,360	492,360	265,874
27	大阪府	大阪府水道工事業協同組合連合会	529	14	13	36	6.7%	13,287,270	9,430,460	3,856,810	2,082,677	34	6.4%	9,921,720	6,847,440	3,074,280	1,660,111
28	兵庫県	兵庫県管工事業協同組合連合会	483	9	12	33	6.7%	13,001,880	9,219,000	3,782,880	2,042,755	33	6.8%	12,285,020	8,475,250	3,809,770	2,057,276
29	奈良県	奈良県管工事業協同組合連合会	112	2	2	7	6.3%	2,467,080	1,749,880	717,200	387,288	8	7.1%	2,492,490	1,716,880	775,610	418,829
30	和歌山県	和歌山県管工事業協同組合連合会	287	22	23	47	16.2%	8,549,500	6,061,360	2,488,140	1,343,596	47	16.4%	8,574,070	5,906,270	2,667,800	1,440,612
31	鳥取県	鳥取県管工事業協同組合連合会	37	1	1	2	5.3%	388,450	275,400	113,050	61,047	2	5.4%	476,880	327,960	148,920	80,417
32	島根県	松江管工事業協同組合	27	0	0	2	7.4%	341,880	242,040	99,840	53,914	2	7.4%	433,800	298,080	135,720	73,289
33	岡山県	協同組合岡山県管事業協会	180	1	2	6	3.3%	2,660,640	1,887,240	773,400	417,636	6	3.3%	2,274,240	1,567,800	706,440	381,478
34	広島県	広島県管工事協同組合連合会	297	0	1	14	4.4%	4,801,540	3,405,430	1,396,110	753,899	16	5.4%	4,994,800	3,438,600	1,556,200	840,348
35	山口県	山口県管工事協同組合連合会	40	0	0	1	2.2%	571,320	405,720	165,600	89,424	1	2.5%	623,880	430,440	193,440	104,458
36	徳島県	徳島県管工事業協同組合連合会	133	30	28	40	29.4%	7,317,240	5,186,400	2,130,840	1,150,654	40	30.1%	6,984,660	4,809,880	2,174,780	1,174,381
37	香川県	香川県管工事業協同組合連合会	234	1	5	23	10.4%	4,532,160	3,213,600	1,318,560	712,022	23	9.8%	4,026,240	2,772,840	1,253,400	676,836
38	愛媛県	愛媛県管工事協同組合連合会	295	15	21	43	14.5%	8,934,210	6,332,180	2,602,030	1,405,096	43	14.6%	9,026,200	6,215,760	2,810,440	1,517,638
39	高知県	高知市管工事設備業協同組合	44	7	7	9	20.9%	4,096,800	2,907,480	1,189,320	642,233	8	18.2%	2,935,440	2,023,200	912,240	492,610
40	福岡県	福岡県管工事業協同組合連合会	445	7	15	57	12.7%	19,716,380	13,973,200	5,743,180	3,101,317	55	12.4%	15,413,710	10,615,490	4,798,220	2,591,039
41	佐賀県	佐賀県管工事協同組合連合会	169	0	0	23	13.6%	6,359,950	4,512,980	1,846,970	997,364	23	13.6%	5,822,520	4,013,760	1,808,760	976,730
42	長崎県	長崎県管工事業協同組合連合会	110	2	3	20	16.9%	4,886,680	3,464,400	1,422,280	768,031	19	17.3%	4,365,800	3,008,160	1,357,640	733,126
43	熊本県	熊本県管工事業組合連合会	254	2	8	46	18.0%	12,892,180	9,136,360	3,755,820	2,028,143	48	18.9%	12,709,120	8,750,160	3,958,960	2,137,838
44	大分県	大分県管工事協同組合連合会	223	1	9	41	17.9%	11,871,240	8,418,240	3,453,000	1,864,620	42	18.8%	11,695,550	8,055,080	3,640,470	1,965,854
45	宮崎県	宮崎県管工事協同組合連合会	197	4	19	39	19.7%	8,972,220	6,363,270	2,608,950	1,408,833	40	20.3%	9,746,690	6,712,800	3,033,890	1,638,301
46	鹿児島県	鹿児島県管工事業協同組合連合会	232	0	6	23	10.0%	5,929,820	4,200,880	1,728,940	933,628	21	9.1%	5,711,120	3,932,600	1,778,520	960,401
47	沖縄県	沖縄県管工事業協同組合連合会	77	0	3	28	35.9%	8,207,600	5,820,030	2,387,570	1,289,288	27	35.1%	6,794,400	4,678,320	2,116,080	1,142,683
		総計	14,933	332	466	1,547	10.3%	472,349,620	335,827,010	136,522,610	73,722,209	1,568	10.5%	467,587,680	323,142,040	144,445,640	78,000,646

空 白 ペ ー ジ

2) 今後の制度推進について

①加入目標

- ・令和3年11月比+32件（加入者数1,600件到達）

②支払保険金及び損害率の状況

- ・令和2年度の単年度損害率は48.8%と昨年度（64.5%）比で15.7ポイントの大幅な減少
- ・過去5年（平成28～令和2年度）の通算損害率は58.7%と65%以下となったため、平成27年11月の第34回事業委員会において了承されたスキームに基づき、令和4年度（令和4年11月～令和5年10月）も引き続き保険料の割増なし
 - ロスプリベンション（事故防止対策）の実施
 - ・事故多発加入者への注意喚起
 - ・加入者へ漏水事故防止チェックシートの配布

令和3年度の推進策(案)

令和4年11月時点の加入者数の目標を1,600件(+32件 対令和3年11月)と設定し、「県連および単組との連携による拡販スキームの構築」により推進加入を図ります。

令和4年11月末まで加入目標 『+32件(1,600件到達)』

管工事賠償補償制度について

損害率の状況

令和2年度(令和2年11月1日～令和3年10月31日)の保険金支払件数は217件、支払保険金は158,272千円、単年度の損害率は48.8%です。
過去5年間で平成28年度～令和2年度(令和2年度)の通算損害率は、58.7%となっています。

項目	令和元年度 (令和元年11月1日～令和2年10月31日)	令和2年度 (令和2年11月1日～令和3年10月31日)	対前年比
支払件数	243件	217件	▲26件
支払保険金合計	216,471千円	158,272千円	▲58,199千円
損害率	64.5%	48.8%	▲15.7%

◇過去5年間の保険料と支払保険金の状況

年度	保険料合計	支払保険金	損害率
平成28年度(平成28年11月1日～平成29年10月31日)	262,262千円	122,482千円	46.7%
平成29年度(平成29年11月1日～平成30年10月31日)	306,868千円	205,689千円	67.0%
平成30年度(平成30年11月1日～令和元年10月31日)	324,007千円	208,772千円	64.4%
令和元年度(令和元年11月1日～令和2年10月31日)	335,827千円	216,471千円	64.5%
令和2年度(令和2年11月1日～令和3年10月31日)	324,244千円	158,272千円	48.8%
平成28年度～令和2年度計	1,553,208千円	911,686千円	58.7%
平成27年度～令和元年度計	1,464,415千円	942,973千円	64.4%

管工事賠償補償制度のスキーム

全管連の管工事賠償補償制度は、5年通算損害率に基づき、次々年度に以下の事故係数表が適用されるスキームとなっています。本年度は下記の通りスキームの変更を検討しております。

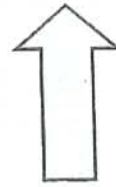
平成22年度～平成26年度の通算損害率が61.8%のため、現行のスキーム上は、平成28年度より10%の割増となります。新スキームに移行することで、平成28年度の割増は不適用となりますが、引き続き事故防止・損害低下に向けたお取り組みが必要となります。また、新スキームへの移行に際しましては、下記の条件をご了承いただく必要があります。

【 新スキーム移行の条件 】

- ① 当該新スキームを約款上に明記いたします
- ② 当該新スキームに移行後のスキーム変更はできません

< 現行スキームの事故係数表 >

5年平均損害率	割増
～60%	1.0
～70%	1.1
～80%	1.3
～90%	1.4
～100%	1.6
～120%	1.8
～150%	2.2
150%～	別途協議



< 新スキームの事故係数表 >

5年平均損害率	割増
～65%	1.0
～75%	1.1
～85%	1.3
～95%	1.4
～105%	1.6
～125%	1.8
～150%	2.2
150%～	別途協議

管工事賠償補償制度について

支払保険金の分布

1. 対象期間(上段)令和2年11月から令和3年10月末、(下段)令和元年11月から令和2年10月末のデータ

支払保険金	件数	割合(件数)	合計支払保険金	割合(支払保険金)
50万円未満	135件 141件	62.2% 58.0%	27,066千円 47,432千円	17.1% 21.9%
50万円～100万円	43件 30件	19.8% 12.3%	32,413千円 19,762千円	20.5% 9.1%
100万円～500万円	35件 37件	16.1% 15.2%	50,705千円 78,359千円	32.0% 36.2%
500万円～1,000万円	3件 4件	1.4% 1.6%	21,568千円 28,203千円	13.6% 13.0%
1,000万円以上	1件 3件	0.5% 1.2%	26,520千円 42,715千円	16.8% 19.7%
計	217件 243件	100.0% 100.0%	158,272千円 216,471千円	100.0% 100.0%

【ご参考】

令和2年度保険金お支払事故事例	支払保険金
漏水が原因で蓄熱ユニット装置の電源ブレーカが落ちる。漏水箇所の調査を行い、不良箇所の修理。	7,678,407円
水道メーター交換が原因で階下へ漏水が発生。	7,278,250円
給水バルブの交換工事中、管が破裂し階下へ漏水が発生。	6,611,299円
食洗機の排水の繋ぎ忘れでキッチン前のフローリングに損害。	4,339,600円

管工事賠償補償制度について

【継続実施】ロスプリベンション(事故防止対策)

安定的な制度運営のために、ロスプリベンションは欠かすことが出来ません。高額の漏水事故を未然にいかに関が課題となりますが、貴連合会にて実施されている事故防止対策と連動させていただくとともに、発生してしまつた事故の事後対応策につきましても貴連合会と連携の元、対応を随時検討させていただきます。

1. 事前防止策

県連・単組へ注意喚起

- ・ 県連へ事故防止セミナー等の開催
- ・ 単組での事故防止講習の開催
- ・ 事故白書の配布
- ・ 全管連ジャーナル「管工事における事故防止対策について」の掲載など
- ・ 漏水事故防止リーフレットの情宣

2. 事後対応策

事故多発会員の対応

- 損保ジャパンから毎月の事故データを全管連へ提供
- ・ 事故多発加入者への注意喚起
 - ・ 保険金のお支払いが多発する加入者への次年度加入の検討
 - ・ 令和3年6月末既往1年間にお支払いした事故データを
現地営業店に開示し加入者毎の損害率を確認し事故防止に努める。
など

全国管工事業協同組合連合会 現場で役に立つ！使える！ 漏水事故防止チェックシート

建設業である管工事業において、工事中及び工事完成・引渡後に生じた事故によって第三者や財物に損害を与える場合があります。事故件数では「破損」及び「漏水」が大きな割合を占めますが、損害賠償の金額では「漏水」に起因するものが8割近くも占めています。

特に漏水の事故形態によっては1事故で数千万円の支払いが求められるケースが発生しており、会社の経営基盤を大きく脅かすこととなります。漏水事故防止や再発防止のためには、竣工間際の追い込みになっても、施工手順、品質の確認及び試運転調整を実施し、施工不良、確認不足及び材料選定ミスなどの人為的ミスに対して対策を講じることです。

このため、本会では実際に現場で配管工（作業員）が実践できる、漏水を起こさせない配管工事チェックシートを2、3頁のとおり作成しました。プリントアウトして、現場に持参いただき、活用ください。また、4頁には漏水事故データを付しております。

それでも工事中、工事完了後に発生する賠償リスクは避けられません。本業界に特化した管工事賠償補償制度を4頁に用意しております。ぜひ、加入についても検討ください。

配管施工時における漏水防止チェック項目

作業前・作業時・作業後と、3回確認し漏水防止に努めてください。

作業日 年 月 日

記入者【 _____ 】

(配管施工前)

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| ①作業スペースは確保しましたか | はい <input type="checkbox"/> |
| ②図面を読み、手順を決めましたか | はい <input type="checkbox"/> |
| ③管材、継手等材料に劣化、変形はないですか | はい <input type="checkbox"/> |
| ④専用工具等、必要な工具はありますか | はい <input type="checkbox"/> |

(配管施工時)

- | | |
|---|-----------------------------|
| ①管切断寸法は確認しましたか | はい <input type="checkbox"/> |
| ②管切断面は正円・垂直ですか | はい <input type="checkbox"/> |
| ③継手と管の差し込みは充分であり、
かつ接続忘れはないですか
(可能であればマーキングしましたか) | はい <input type="checkbox"/> |
| ④シール材は均一に塗布しましたか | はい <input type="checkbox"/> |
| ⑤支持に緩み、変形はないですか | はい <input type="checkbox"/> |
| ⑥重機や機械で配管、構造物等を
損傷させる恐れはないですか | はい <input type="checkbox"/> |

(配管施工後)

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| ①配管を行った順に、巡回しましたか | はい <input type="checkbox"/> |
| ②配管にゆがみなど無理な力が加わっていませんか | はい <input type="checkbox"/> |
| ③水圧、通水、満水試験は行いましたか | はい <input type="checkbox"/> |
| ④弁類の開閉は確かめましたか | はい <input type="checkbox"/> |
| ⑤作業スペースの片づけ、清掃は行いましたか | はい <input type="checkbox"/> |

全国管工事業協同組合連合会(国土交通省認可団体)

<http://www.zenkanren.or.jp/>

器具(機器)取り付け時における漏水防止チェック項目

作業前・作業時・作業後と、3回確認し漏水防止に努めてください。

作業日 年 月 日

記入者【 _____ 】

(配管施工前)

- | | | |
|--------------------------|----|--------------------------|
| ①作業スペースは確保しましたか | はい | <input type="checkbox"/> |
| ②図面を読み、手順を決めましたか | はい | <input type="checkbox"/> |
| ③梱包を開けた機器・器具に変形、損傷はないですか | はい | <input type="checkbox"/> |
| ④取り付け説明書は読みましたか | はい | <input type="checkbox"/> |
| ⑤付属品は揃っていますか | はい | <input type="checkbox"/> |

(配管施工時)

- | | | |
|--|----|--------------------------|
| ①パッキン、ガスケット類の順序や向きは正しいですか | はい | <input type="checkbox"/> |
| ②器具(機器)接続部と配管との誤差は適当で
接続部には無理な力がかかっていませんか | はい | <input type="checkbox"/> |
| ③ボルト・ナットは適度な力で締め付けられていますか | はい | <input type="checkbox"/> |
| ④ビス・ネジ類は穴の大きさに合っていますか | はい | <input type="checkbox"/> |

(配管施工後)

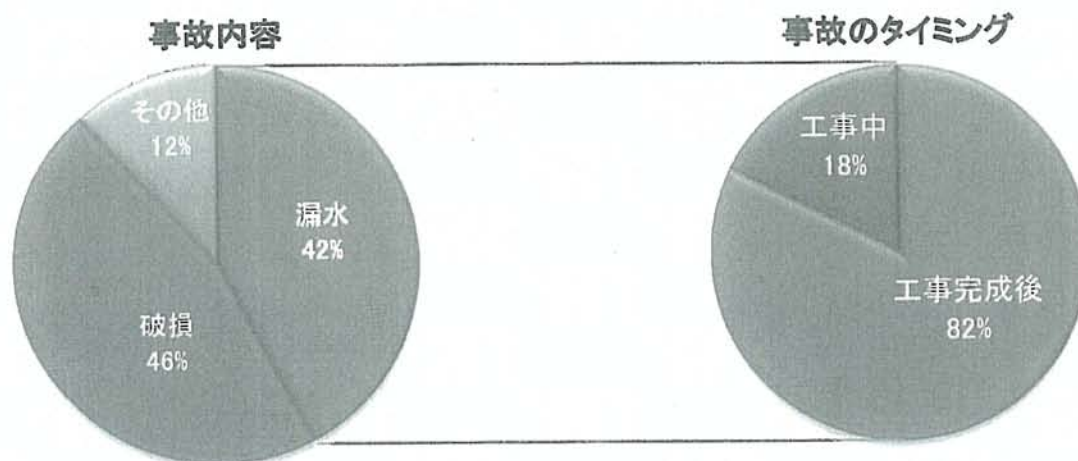
- | | | |
|--------------------------|----|--------------------------|
| ①器具、機器は水平、垂直に取り付けられていますか | はい | <input type="checkbox"/> |
| ②基礎や架台にはしっかり固定されていますか | はい | <input type="checkbox"/> |
| ③試運転・調整(通水)は行いましたか | はい | <input type="checkbox"/> |
| ④付属品に余りはなかったですか | はい | <input type="checkbox"/> |
| ⑤作業スペースの片づけ、清掃は行いましたか | はい | <input type="checkbox"/> |

全国管工事業協同組合連合会(国土交通省認可団体)

<http://www.zenkanren.or.jp/>

1. 漏水事故分析

漏水事故は、工事中・工事完成後を問わず、多く発生しています。



管工事賠償補償制度調べ(平成25年11月1日から平成28年10月31日)

2. 事故事例

漏水事故は、発生した建物によっては高額な損害賠償となるケースがございます。

工事中・完成後	事故概要	賠償額
工事完成後の事故	分譲マンション新築工事で、水道管の接続不要により漏水	約3,000万円
工事中の事故	止水栓の閉め忘れにより、階下テナントに漏水	約1,500万円
工事中の事故	店舗空調設備工事で、誤って既設水道管をキズつけ、漏水	約1,300万円

3. 管工事賠償補償制度(賠償責任保険)の補償内容・保険金額

身体賠償・財物賠償ともに高額な保険金額で安心をお届けします。

工事中・完成後	身体賠償	財物賠償
工事完成後の事故(請負賠償補償)	1名 2億円 / 1事故 5億円	1事故 1億円
工事中の事故(生産物賠償補償)	1名 2億円 / 1事故・期間中 5億円	1事故・期間中 1億円
施設の所有・使用または管理に起因する事故(施設所有管理者賠償補償)	1名 2億円 / 1事故 5億円	1事故 1億円
主な特約	【請賠】交差責任担保追加条項(Both-Way)、作業対象物担保追加条項 【施設賠】漏水担保追加条項	
【自己負担額(免責金額)】	プランⅠ : 1事故につき身体賠償・財物賠償ともに10万円 プランⅡ : 1事故につき身体賠償0万円、財物賠償3万円	

このご案内は概要を説明したものです。管工事賠償補償制度のご加入手続きその他詳細につきましては、取扱幹事代理店または損保ジャパン日本興亜までお問い合わせください。

制度に関するお問い合わせ

<引受保険会社>
損害保険ジャパン日本興亜株式会社 営業開発部第三課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

TEL03(3349)3820 FAX03(6388)0157

受付時間: 平日/午前9時~午後5時

<取扱幹事代理店>
株式会社ウーベル保険事務所
〒104-0041 東京都中央区新富町2-4-5 ニュー新富ビル8F TEL03(3553)8552 FAX03(3553)8553

受付時間: 平日/午前9時15分~午後5時15分

(SJNK17-15605)2017年12月12日作成

新型コロナウイルス感染症の影響により日程が変更になることがあります	
月 日	令和4年(2022年)
2月4日(金)	事務局研修会 13:30(品川プリンスホテル・メインタワー・WEB併用)
2月7日(月)	総務委員会・災害対策担当理事合同会議 13:30(品川プリンスホテル) *延期
2月17日(木)	経営委員会 14:00(WEB)
3月1日(火)	広報委員会 14:00(全管連・WEB併用)
3月11日(金)	技術委員会 14:00(品川プリンスホテル・メインタワー・WEB併用)
3月15日(火)	水施設整備費に係る検討会WG 14:00(全管連)
4月22日(木)	部長会議 13:30(全管連・WEB併用)
5月16日(月)	総務部会 13:30(全管連・WEB併用)
5月中旬	経理部会 13:30(全管連・WEB併用)調整中
5月中旬	監事会 13:30(全管連)調整中
6月2日(木)	正副会長・部長会議 13:30(大手町サンスイカイルーム・WEB併用)
6月15日(水)	臨時総会・理事会 13:30(品川プリンスホテル・WEB併用)
7月4日(月)	通常総会(14:00)・全国大会(15:30)(軽井沢プリンスホテル・ウエスト)
8月6日(土)	青年部協議会 通常総会 (栃木県宇都宮・WEB併用)
10月18日(火)	理事会 13:30(品川プリンスホテル・メインタワー)
10月19日(木) ～21日(金)	第54回管工機材・設備総合展(都立産業貿易センター浜松町館)
10月19日(木) ～21日(金)	日本水道協会 全国会議(名古屋市国際展示場)